

Kyuu-Ryoo



神大OB特別インタビュー
課外活動ニュース =ESS・レスリング部=
ジンダイノベーション
活性化している地域組織
熊本・愛媛・大阪・三重・岩手
第90回 東京箱根間往復大学駅伝競走



CONTENTS

- 01 会長あいさつ 一般社団法人神奈川大学宮陵会 会長 狩野七郎
- 02 理事長あいさつ 学校法人神奈川大学 理事長 伊藤文保
- 03 学長あいさつ 神奈川大学 学長 石積 勝
- 04 大学ニュース
3号館完成・国際寮エスペラル新設
- 08 海外組織紹介 (バンコク・上海・大連)
- 10 委員会紹介
広報委員会 ● 事業委員会 ● 女性委員会
- 12 神大OB特別インタビュー
鈴与ホールディングス株式会社代表取締役社長 早川 巖さん ● 未来環境テクノロジー株式会社代表取締役社長 正野幸延さん
- 14 宮陵会だより
- 18 課外活動ニュース =ESS・レスリング部=
- 22 神大の歴史
- 24 ジンダイイノベーション
- 28 神大スポーツ・文化振興会 賛助者芳名
- 30 活性化している地域組織
熊本・愛媛・大阪・三重・岩手
- 34 大学院トライアルコースのご案内
- 36 地域組織だより
- 52 編集後記
- 56 第90回 東京箱根間往復大学駅伝競走
- 58 地域組織一覧



Advertising

- 17 ●株式会社カレンズ
- 27 ●株式会社ディーエムエス
- 27 ●株式会社千代田
- 51 ●ホテルエクセル岡山
- 52 ●明立工業株式会社
- 55 ●神奈川大学みなとみらいエクステンションセンター
- 61 ●宇久田進治税理士事務所/株式会社経営センターグロウ
- 61 ●SKY総合法律事務所
- 裏表紙 ●神奈川大学生協同組合
- 裏表紙 ●横浜信用金庫

横浜専門学校校歌

一、近代日本の文化の曙光
初めてまばゆく照し、港
港に基おく我等の母校
栄えよ横浜専門学校

二、基は新たな昭和の御代に
四海の思潮の寄せる時に
経世実用めあてとなして
栄えよ横浜専門学校

三、狂と暗とは暫しの悩み
正義は世界の力の本と
信じて勉むる健児のやどり
栄えよ横浜専門学校

四、祖国の誉れと世界の平和
目指して日に日に希望にみちて
向上無窮の使命に進む
栄えよ横浜専門学校



神奈川大学校歌

一、岩をうち ところろに返す
真白なる 波のゆくえよ
あけそめし 日本の未来
湧きおこる あかつきの歌
世界は呼ぶ 世界は呼ぶ
ひかりはここに
われら われら 神奈川大学

二、空あおく 涯てなくあおく
船は航く 遠きわたつみ
ひとすじの 真理の潮路
相寄りて今日も究めん
世界は呼ぶ 世界は呼ぶ
ひかりはここに
われら われら 神奈川大学

三、丘に立ち 祖国を想う
混沌の 雲のゆきかい
日に烈し ほのほの決意
あたらしき 歴史の朝よ
世界は呼ぶ 世界は呼ぶ
ひかりはここに
われら われら 神奈川大学



会長あいさつ

一般社団法人神奈川大学宮陵会 会長 狩野七郎



今年の例年にならない異常気象で、二月五日、十四日とたて続けの寒波襲来は、全国的にドカ雪となり、特に北海道、東北地方、西日本そして母校のある関東地方も気象庁始まって以来の降雪量とニュースになるほど、被害も想定外で甚大となりました。平成二十三年三月十一日の津波襲来を想起させます。宮陵会々員は勿論のこと、その関係者の被害に遭われた皆様方に対し、深甚なるお見舞いを申し上げます。

彼岸入りの翌日三月十九日、二〇一三年度の卒業式が挙行されました。大学院を含めての卒業者は三、九〇五名と報告されました。例年通り会場はみなどみらいの国際会議場で一部、二部にわけて一階を卒業生席、二、三階は保護者席とし盛大に行われました。

今年は何年にも比べ就職率が良いようで、石積学長の式辞にもありましたように、社会にでて神奈川大学建学の精神に則り、誇りをもって目標に当ってほしいと思います。そして世界を相手に大いなるご活躍を期待いたします。

◆ 今年は何年にも比べ就職率が良いようで、石積学長の式辞にもありましたように、社会にでて神奈川大学建学の精神に則り、誇りをもって目標に当ってほしいと思います。そして世界を相手に大いなるご活躍を期待いたします。

岸まで」の言葉どおり、彼岸が過ぎましたら急に暖かくなりました。入学式は四月三日です。入学試験日が雪の日と生憎重なり会場によっては大変ご苦労なさった方もおられたと思います。

◆ 新入生は神奈川大学の学生と同時に神奈川大学宮陵会の準会員となります。宮陵会は準会員（在校生）に対し、奨学金の給付、貸与事業の他、課外活動団体（スポーツ、文化振興会等の部活）に対しても、資金援助をしております。登校と同時に各部から誘いがあると思いますが、是非何れかに入部され仲間作りに励んで下さい。

◆ 現在、部員（男性一人、女性四人）で頑張っている部があります。それは応援指導部です。全国的には女性の団長がいる学校（早稲田等）が増加しつつあります。男女の参加を大歓迎します。新入生でこの部を助けてあげて下さい。

◆ 会務の執行状況は六月七日（土）の定時総会に向けて①平成二十六年年度の事業計画及び収支予算、②代議員選挙、役員選挙改革（案）については三月二十九日開催の理事会において原案が承

認されております。各委員会が積極的に会議を開催し各事業を進めております。

◆ すでにご案内のとおり、前期に一般社団法人への移行について、当局からの指導により、約四億五千万円の内部留保金を九年度に亘り年四千九百万円を学校法人神奈川大学に寄付することになっております。平成二十六年年度の予算において第二回目の四千九百万円の寄付金は計上しておりますので、予算案の立案に当って慎重に進めておりますが、年々資金繰りが窮屈になって来ますので大所高所から検討して参りました。

◆ もともとこの留保金は準会員の会費の担保的保証金と、宮陵会の会館建設資金の積み立てとの心積もりのもので、法人格移行でこのような方向になるとは想定していなかったのです。

◆ 改めて会館建設を考えると、宮陵会独自ではその実現は夢の又夢になりました。

◆ 今後、学校法人に対し、宮陵会としての切なる思いを申し上げて、ご検討いただきたいと思います。会館構想について会員皆様の忌憚のないご意見をお寄せ下さい。

理事長あいさつ

学校法人神奈川大学理事長 伊藤文保



神奈川大学 近況のご報告

神奈川大学宮陵会のみなさまには、お元氣にお過ごしのことと存じます。とは云え、日本列島、昨夏には記録的な猛暑と過去に経験したことのない豪雨、また、冬には厳しい寒さと豪雪に見舞われるなど、ここ数年、過酷な自然現象が顕著であります。ご当地の校友のみなさまに、あわせてお見舞い申し上げます。

そして、宮陵会の皆様には、本学及び学生諸君へいつに変わらぬご支援をいただいております。改めて感謝申し上げます。

さて、日本経済、アベノミクス効果（？）による景気回復も、企業業績が上向きに転じていることなど、ほぼ安定軌道に乗りだしたとの見方もあります。そのような中、この4月から消費税が増税となりました。また、東日本大震災の復興事業や社会インフラの老朽化対策などの公共投資の拡充、加えて、東京オリンピック・パラリンピック開催に伴う関連投資など、日本全体で大きな建設需要が見込まれています。それに伴う建設経費の高騰も進んでおり、これらが今後の景況にどのように作用するか懸念されることです。本学も、将来構想推進のため大きな投資を予定している立場にあり、計画の再チェックも必要かと思っております。

大学の近況をご報告します。東日本大震災からはや三年が過ぎました。日常生活のなかでは、ほろ落ち着いたかのような感があります。が、とは申せ今なお厳しい環境に置かれている被災学生・新入生も少なくありません。したがって、学費減免等の経済支援については、今年度も引き続きご家族の状況等を見極めながら措置を講じてまいります。

次に、平成二十三年三月に策定した横浜キャンパスマスタープラン（施設整備計画）の推進についてです。このマスタープランの皮切りとして建設を進めてまいりました旧三・四号館跡地に新たに三号館が完成し、この四月より利用可能になりました。講義室不足と学習環境の改善が急務であっただけに、とりあえずの懸案が一つ解消できたと考えています。この三号館には、創立者米田吉盛先生の建学の心や本学の歩みを紹介するコーナーや日本常民文化研究所の資料などの展示ホールも設けています。横浜キャンパスのお近くへいらした時は、是非ともお立ち寄り下さい。今後のプランとしては、国際センター棟の新設、体育館、工学部実験棟の移設などを逐次進めていくこととしていますが、先に述べた国内の建設需要の状況により進捗度が鈍ることも予想されますが、いろいろ工夫をこらしながら着実な達成に努めてまいります。

三点目に、本学国際化のあり様の一つとして、この四月に、「国際女子寮」「国際寮 エスペラル」を開設しました。横浜キャンパス近くに立地し、本学在學生と海外からの留學生とが生活を共にし、相互に身近に国際体験ができる、「国際教育女子寮」というようなイメージです。日常的に異文化があり、そこから理解と交流が育まれることが期待でき、また、寮生活をステップに海外留学にもスムーズに溶け込めるような、国際感覚が身につく施設になることを願っています。

四点目は、競争力のある新たな教育組織の設置として、新学部、新学科を含む学部学科再編についてです。

現在、石積学長を中心に鋭意検討を進めていただいておりますが、方向としては、グローバル化が急速に進む中で、国際社会においても臆することなく果敢に挑戦し、活躍できる人材を育成する、「積極進取」の精神を涵養する新組織としていく方向で、学内の基本的な合意を得ています。併せて、既存の学部、学科においても、それぞれ歴史と伝統を守りながらも、それぞれ時代ニーズ等にも目配りのある改革も進めていただきたいと考えています。

さて、先の評議員会・理事会において、平成二十六年年度予算が承認、決定されました。

これまでる申し上げたことも盛り込んだ「将来構想第一期中期実行計画（改訂版）」に沿って新年度予算も、編成いたしました。引き続き、諸動向に留意しつつ、慎重な経営に努めるとともに計画を着実に実行してまいります。

最後になりますが、在學生と卒業生の活躍についてです。みなさまが、年頭に注目される箱根駅伝での陸上競技部諸君だけではなく、様々な部活動等において、在学中のみならず卒業後も活躍している諸君がいること、大変誇らしく思っています。競技等により、新聞やテレビの扱いも異なり、なかなか全国の皆さまに、伝わりにくい状況は承知しており、一工夫が必要かと思っております。今後とも在學生や卒業生の多方面での活躍に暖かいご支援、ご声援をいただければ幸いです。

おわりに、宮陵会の発展と皆様のご健勝を心からお祈り申し上げます。

学長あいさつ

神奈川大学 学長 石積 勝



日頃のご支援ありがとうございます。これからもよろしくお願い申し上げます。学長に就任してすぐに本誌「宮陵」の第62号（2013年4月）で「学長挨拶」を掲載させていただきましたが、挨拶文冒頭に次のように記させていただきました。

「伊藤理事長がよくおっしゃられています（大学を支えているのは、学生と、教職員と、それから卒業生である」と。私も全くその通りだと思っております。大学を支える3本の柱のひとつ、卒業生のみなさんの変わらぬご支援があつてこそ、本学は力強く、また永続的にその歩みを進めることが可能であると、ここ数年、痛感しております。その様に申し上げますのも、私自身、過去三年間副学長の職にあり、様々な形で卒業生の皆様と触れあい、色々とお話しさせていただいてきたからです。」

10カ月経った今、この思いをますます強くしているところです。この間、じつに多くの機会を通じてみなさまに直接お会いさせていただき、そのたびに励まをいただき、85年の神大の歴史の重みを感じ、あらためて学長として神大の前に前に進めなければと毎回肝に銘じたところです。昨年4月以降の皆様との触れ合いを、ちよつと振り返つてみたいと思います。

●宮陵会

- 6月15日 総会（横浜）
- 8月24日 宮陵会クルージング（江の島）
- 9月7日 宮陵会北海道ブロック会議
- 10月19日 箱根駅伝予選会（立川に何百人ものOB・OGが来て下さいました）
- 10月20日 ホームカミングデー（横浜）
- 11月16日 宮陵会東北ブロック会議（遠野）

11月30日 宮陵会中国ブロック会議（広島）

12月3日 宮陵会 給付奨学金交付式（横浜）

12月5日 宮陵会 大学院給付奨学金交付式（横浜）

12月10日 課外活動 特別奨学金交付式

1月2日 箱根駅伝

1月3日 箱根駅伝

1月9日 箱根駅伝報告会

1月28日 宮陵会 奨励賞祝賀会

2月15日 フロンティアクラブ総会

また高崎・長野・新潟・仙台・青森・盛岡・宇都宮・甲府・横浜・平塚での父母懇談会（多数のOB・OGにゲストとしておいでいただきました）や、学内の各種行事で様々な交流の機会を持たせていただきました。

一方、私としては神大のいわばトップセールスマンとして積極的にマスコミ取材にも応じ、できる限り神大をアピールしてまいりました。学長として登場した主なものを列記します。

●2013年

- 4月11日 タウンニュース「人物風土記」
- 5月初旬 朝日新聞デジタル「大学トップが語る」
- 5月28日 朝日新聞「大学ランキング」
- 6月14日 日経進学ニュース「トップメッセ」
- 7月17日 産経新聞「大学ナビ」
- 8月19日 神奈川新聞「未来航路」
- 9月中旬 リクルート「大学の約束」
- 9月下旬 大学通信「卓越する大学」
- 12月7日～28日（毎週土曜日、計4回）FM横浜「Japan Company Spirit」
- 12月9日 産経新聞「グローバル人材、イノベーション人材の育成に向けて」

12月26日 朝日新聞「トップマネージャーフォーラム」

●2014年

1月3日 読売新聞「大学トップメッセ」

2月4日 ラジオ日本「こんにちは！鶴岡靖夫です」

私としては今後ともできる限り大学の顔として各方面の方々とお会いし、同時に本学の広報マンとしての機能を果たしたいと思つていられる所存です。

ところで日本の大学がますます大きな曲がり角にあること、新聞その他で盛んに取り上げられているので、皆様も感じられていることと思います。2018年、つまり4年後にはまた再び18歳人口の減少期に入りますが、そこから本学に大学間の熾烈な競争が始まるのではないかと思います。今、この時に現状をしっかりと把握し、世の中にアピールできる新鮮な教育プログラムをいち早く提示できる大学がこの競争に勝ち抜くのだと思います。学長としてそのことを深く自覚し、教職員、特に本学のトップマネージャーメントを担っている皆さんに私の考えを訴え、新機軸の展開に向け、まさしく今動き出しているところとす。幸い伊藤理事長の強力なバックアップもあり、グローバル人材教育を念頭に置く新たな試みに関係者の協力を得ながら着手しようとしているところとす。その他正規の授業における各学部、各部署の試みを支援し、いわゆる課外活動も大いに盛り上げたいと思つていいます。

OB・OGの皆さんがこれまで築いてこられた神大の実績を踏まえつつ、神大がさらに輝ける、存在感を増す大学になるよう全力を尽くす所存ですので、今後ともご支援方よろしくお願い申し上げます。

大学ニュース

Kanagawa University News

- 横浜キャンパス3号館完成 ●
- 国際寮 エスペラル新設 ●

待望の横浜キャンパス 3号館がついに完成!

横浜キャンパスマスタープラン推進のスタートラインに位置し、キャンパス整備の要となるシンボルとして重要な位置を占める新3号館が旧3・4号館跡地に本年3月に完成した。

この建物は創立100周年に向けた学校法人神奈川大学将来構想の一環として長期的視野に立つて策定された前記マスタープランが掲げる基本方針に基づいて新設された施設で、具体的に以下の対応を図ることにより、当面する課題と将来の展望に因應することが企図されている。

- ①現在の学生定員およびカリキュラムの多様化に伴う授業種別・開講講座に対応する対応
- ②少人数教育への対応やPC演習室の不足の解消など、時代が要求する授業への対応
- ③築50年を経過した旧3・4号館は、構造的には耐震補強を済ませているものの、設備の老朽化や講義室の大きさなど、難があり、時代の要求による改善すべき問題への対応
- ④防災拠点としての位置付けに対応でき

る機能、施設整備を行い、教育施設、研究施設、地域開放施設の融合を図る
地下2階、地上4階建て、建築面積201・75平方メートル、延床面積1万1484・50平方メートルの規模の

この建物は、教育学習環境の充実を図るため、29室の大・中・小ささまざまな講義室のほかに、学生ラウンジや多彩な学習スペースで構成され、PC対応OAフロア、ゆとりあるつくりの広々とした吹き抜け空間や共用スペース、自習スペースが確保されている。フロアごとの配置展開は、地下2階と1階を除く各階に講義室が、地下1階にラウンジがあり、2階と3階にラウンジと学習スペースがそれぞれ吹き抜け空間周辺に配されている。

とくに地下1階のラウンジには本学が国際港都・横浜に生誕したことにちなんで、復元された帆船が展示されており、本学の新たな船出を象徴している。
また、建物の入口である1階部分に展示ホールが設けられ、この新棟の完成を機に锦上添花の各種展示が企画されている。これと関連して、展示資料を収納す

るための常民資料倉庫や常民作業室が地下2階に設置されている。

その他の収容施設として学生の学習支援と教員の教育支援を目的として1階フロアに教育支援センター、講師控室が設けられている。

- 新3号館として新たに誕生したこの施設の特徴は、省エネルギーと安全、地球環境に配慮したつくりになっていることで、ガラス張りの開放的でモダンな装いの外観に加えて、建物の内部にも最先端設備を備え、最新技術を導入することによって地球と人にやさしいエコキャンパスの実現を目指すとともに、防災機能を強化するため、最新の耐震技術を採用されるなど、建物の各所にさまざまな工夫が凝らされている。環境面への配慮という点では、消費電力の削減や空調機の負荷の低減を目的とした、次のような省エネルギー対策が施されている。
- ①地下100メートルの地中熱エネルギーを利用した空調システムの採用
 - ②断熱効果の高いLow-Eガラスの採



用

- ③ 自家発電機能付きガスヒートポンプ（GHP）空調機等の省エネ機器の採用
- ④ スイングウィンドウを利用した自然換気の有効利用
- ⑤ 太陽光発電を利用した照明設備
- ⑥ 消費電力の少ないLED照明器具の採用

⑦ 雨水の中水利用による節水対策

地震対策としては地震・振動対策技術「座屈拘束ブレース」が採用されている。これは本学工学部建築学科で研究開発し、学校法人神奈川大学が特許を取得した技術である。躯体に塑性ダンパーを組み込んだこの損傷制御設計を採用することにより、地震による大きな力を受けても主架構の塑性歪は大幅に低減されることから、地震後も主架構を継続して使用することが可能となる利点がある。このような形で本学の有する高度な技術が応用され、その成果が新3号館に生かされている。防災備蓄倉庫の設置に加え、こうして結集された技術力と知識情報の成果をもとに、本学が社会的役割を担った災害時の防災拠点として地域のために機能貢献することが構想されている。

以上、新棟の完成により、本学が将来構想との関連で掲げる魅力ある学園づくりの実現に向けてキャンパスの整備が一段と進むとともに、新しい施設や整備された環境を多方面で最大限に生かした開

かれた大学としての新たな展開と大きな発展が期待される。

次に、展示機能の詳細について紹介する。これは展示スペースを備えた講義教室棟として、大学教育にとって主力となる必要不可欠な要素である教育支援と並んで、新3号館が世界を惹きつけ、世界に発信する機能の強化を目指して力を入れているもうひとつの重要項目である。

その神奈川大学展示ホールが、神奈川大学をより理解するために1階に設けられ、創立者米田吉盛先生と神奈川大学の歴史に関する資料を展示した「創立者・神奈川大学史展示室」と、日本常民文化研究所の所蔵資料などを扱う「神奈川大学日本常民文化研究所展示室」が設置された。展示ホールは、神奈川大学を視覚的に体感する試みとして注目される。

展示ホールのコンセプトは、「世界へ、そして未来へ―海により開かれ、世界との接点となった横浜に生まれた神奈川大学は、建学の精神である「質実剛健・積極進取・中正堅実」に基づき、その歴史と伝統をもとに、グローバル世界の進展の中で、主体的に新たな価値を創造する人材を育成し、地域、日本そして世界の発展と安定に寄与します。神奈川大学展示ホールは、こうした使命のもと、将来に向け、教育研究の創造的成果を社会に還元していきます。」と、展示ホールには、神奈川大学の高等教育機関としての



矜持と抱負が託されている。

こうしたコンセプトをふまえ、「創立者・神奈川大学史展示室」では、創立者と大学の歴史に焦点を当てた展示が行われる。「創立者米田吉盛と学校創立の協力者」「横浜専門学校の歴史」「神奈川大学の歴史」といった各コーナーにおいて、創立者ゆかりの資料や、学校創立に協力した初代横浜専門学校校長の林頼三郎といった魅力ある人物たちの紹介、学校設置申請書・認可書などの公文書のほか、教育・研究および学生生活の諸相など、横浜専門学校の誕生から新制神奈川大学の発足、そしてその拡充期までを多彩な資料により振り返る。創立者の米田吉盛先生は、愛媛県内子町に生まれ、中央大学専門部を卒業後、29歳のとき、教育の道を志した。生誕一五五年の節目となる2013（平成25）年、本格的に展示準備がスタートとなり、このたび開設の運びとなった。創立者や大学の歴史については、これまでも刊行物などにより学ぶことができたが、展示という臨場感あふれる手法で知る機会を得たことは大変喜ばしい。原資料から直に歴史に触れることができるので、学生や教職員はもとより、卒業生や社会一般の方々にこそ広く観覧されたい施設である。

「神奈川大学日本常民文化研究所展示室」で紹介する日本常民文化研究所は、1921（大正10）年、明治大正期の実

業界を牽引した澁澤榮一の孫である澁澤敬三によって創設され、民具・民俗、漁業・水産史など日本常民社会の多様な領域におよぶ研究を行ってきた。その研究所が、1982（昭和57）年、神奈川大学に招致され付属研究所として活動することになった。展示では、研究所の草創期から神奈川大学の日本常民文化研究所として再出発するまでの歴史や、その後の活動および今後の展望を、所蔵する映像や写真資料などを交えて取り上げる。日本常民文化研究所は、これまで独自の業績をあげており、その歴史と所蔵資料などを紹介し、研究活動の一端を披露することは、大学の重要な役割でもある。

この二つの展示室に加えて企画展示室も設けられ、開設時には、企画展「近藤友一郎和船模型の世界」が催される。横浜に生まれた神奈川大学、「海」の視点から日本文化を見ることに早くから取り組んでいた日本常民文化研究所、このように「海」との関係深い本学では、著名な船大工である近藤友一郎による「近藤和船研究所コレクション」を所蔵している。企画展では、その卓越した技術と研究によって制作された和船模型のコレクションを展示し、船を通して海との関わり的重要性を考える。

このたび開設される展示ホールが、神奈川大学における歴史や伝統といった側面の顔となることが期待される。

4月オープン

神奈川大学

「国際寮エスぺラール」新設

「キャンパスで学び、友人と共に暮らす国際寮」

この春、神奈川大学では国際女子寮を新設しました。学生生活の支援と充実化を図るための良好な環境を整備するとともに、日本人学生と外国人留学生との相互理解を深め、国際交流を促進することを目的に国際交流学生寮が設けられました。国内にいながら異文化交流・外国人留学生との共住で寮内留学が実現する新しいコンセプトの女子寮です。

国際女子寮新設にあたり、現在学生寮で生活している外国人留学生に、学生寮での生活や、新設される国際寮についてどう思っているかを苦勞したエピソードなども交えてインタビューしました。

王 蕾 (Wang Lei)

- 所 属…歴史民俗資料学研究所
博士前期課程 2年
- 出身地…中国
- 入寮学生寮…神奈川大学二本棟棟

■ 学生寮に住んでみてどうですか。

最初は母国を離れ、たったひとりでの生活で不安もあったが、徐々に慣れていくことで、プライベートの時間を有効に使えるようになり、今では楽しく生活をする事ができている。また、管理人さんが困ったときに気軽に相談に乗ってくれるので助かっている。とても親切に接してくれる管理人さんがいることが心強く、不審者等の心配も軽減されるので安心して暮らしている。しかし、日本へ来た当初は人見知りをしてしまい、管理人さん以外と接する機会





れる機会が作れ、学校生活だけでなく、学生寮内でも充実した時間を過ごせると思う。

牛 天宝さん (Niyu Tianbao)

- 所属：経営学部国際経営学科 4年
- 出身地：中国
- 入寮学生寮：神奈川大学白楽寮

■ 学生寮に住んでみてどうですか。

神奈川大学白楽寮の1番の魅力は寮費が安いところ。水光熱費、インターネットの使用料金込み月額35,000円と他の寮と比べても寮費が安い。また、日本へ留学してきた当初は、日本で使用できる携帯電話を持っていなかったが、白楽寮ではインターネットがすぐに使える環境が整っており、母国にいる家族へすぐに連絡を取ることができたのでとても助かった。

■ 新設される国際寮エスペラールについてどう思いますか。

同じ寮にいる日本人学生と取る何気ないコミュニケーションの中で、様々な日本語を教えてもらい、覚えることができた。そのほかにも、日本で生活するための基本的なルールや知識も教えてもらえるので国際寮にも、白楽寮と同様に日本人学生と一緒に住める環境を取り入れてほしい。留学生は日本の言語や文化にすぐ興味があり、日本のことについて学

びたい・知りたいという前向きな考えを持っているので、寮内で行えるイベントを企画するなど友人を作るきっかけをたくさん作ってあげてほしい。

◆ インタビューを終えて

今回のインタビューでは、母国を離れ、たった一人で日本での生活を始めた外国人留学生のリアルな話を聞くことができた。言語や文化の違いがある中で、寮に常駐する管理人さんや日本人学生に助けをもらいながらも、現在では充実した生活を送っている。二人の流暢な日本語は、絶え間ない努力とさまざまな経験から得た努力の結晶だということが分かった。

新設された学生寮には、外国人留学生と日本人学生が入寮している。外国人留学生の不安を取り除いてあげるためにも、学生同士がコミュニケーションを取る機会が必要だと改めて感じた。国際寮の新設に伴い、今後の神奈川大学の国際化による外国人留学生の支援・受け入れ体制の強化につながることを期待したい。



国際寮 エスペラール概要

- 建物：鉄筋コンクリート造 地下1階・地上5階建て
- 予定人数：日本人女子学生50名・外国人女子学生50名
- 個室設備：エアコン・洗面台・クローゼット・インターネット・ペラング
- 寮費：月額45,000円
- 共益費：5,000円
- 共用部：エレベーター・大浴場・食堂・多目的ホール・和室・集合ポスト・集合玄関靴箱・屋外駐車場・トイレ・シェアキッチン・コインランドリー・シャワーブース等
- 食事：食堂にて朝夕提供（申込制）
- 立地：神奈川区中丸（大学まで徒歩約5分）

海外組織紹介

神奈川大学バンコク会

事務局長 鈴木 弘宣

(昭和43年・貿易学科)

神奈川大学バンコク会は、1970年代初め、故西野順治郎大先輩（「メナムの残照」の訳者）、大橋会長など数名で結成された。西野大先輩は横浜専門学校修学後外務省に奉職し、「タマサート大学」に国費留学生として来泰、在タイ日本大使館に勤務のまま終戦を迎えられた。戦後タイ・トーマン、Tilleke & Gibbins法律事務所勤め、2011年バンコクにて死去。享年84歳。

現在の会員数18名と小さい組織だがまとまりよく、大橋会長と鈴木事務局長を中心に懇親会、ゴルフ会等の交流が続けている。年代も学部も会社も、そして日本の故郷も異なる仲間が、暖かい絆で支えられているのは「微笑みの国タイ」にいるからだろう。

18名のうち4名は自分で起業し、従業員530名の大会社を経営している社長もいる。

現在タイには在留届提出済日本人が約5万人在住、日系企業が約6000社進出、バンコク日本人学校には世界最大規模の3000余名の小中学生が通学している。日本食レストランも数多く、バンコクだけで約1200余店もあり、更に増えつつある。



タイ人はとても親日的で、宗教も日本と同じ仏教、体形も似ており、和食を好み、日本文化、日本の観光地にあこがれ、最近では北海道、富士山が人気上昇中。我々現役で働いている者の中で、「タイで使い者にならないものは、世界どこに行っても使い者にならない」との格言があるほど働きやすい環境にある。

まさに、タイは日本のどこかにいるような錯覚に陥るほど、日本に近い国といえる。

昨年タイ国日本人会は創立100周年を迎えた。現在大橋会長が日本人会会長、タイの日本人社会のまとめ役として活躍している。西野大先輩も8年間日本人会会長職に就いていた。

(学生諸君へ)

言わずもがな、好むと好まざるを問わず、これからの世界は益々、異国の文化、異国の人との交わりを避けられない社会

になる。百聞は一見にしかず、また神奈川大学校歌にも「世界は呼ぶ」と歌われているように、まず海外へ、タイへ第一歩を踏み出しましょう。経験や知識豊かな昔若かった先輩たちが熱烈に歓迎いたします。

ご質問、お問い合わせがあれば遠慮なく下記電話、メールアドレスへ問い合わせ願います。

◆連絡先

・事務局長…鈴木弘宣

(昭和43年経済学部貿易学科卒業)

・携帯電話：081-734-6409

・メール…

hironobusuzuki2004@yahoo.co.jp

神奈川大学同学会上海宮陵会

副会長 王 穎

(平成10年・経博前)

神奈川大学同学会上海宮陵会を紹介致します。上海宮陵会は2009年の設立で、まだ4年ちよつとの比較的新しい同学会です。

当初は上海に勤務している我々中国人留学生の卒業生仲間だけで立ち上げた会でしたが、その後日本人の卒業生も加わり、会員数は2014年1月現在75名になりました。上海宮陵会のおかげで、母校との絆が一層強くなったと感じています。

ここで、2013年度の活動内容を紹介します。

先ず、2013年1月20日、四季亭(日本料理)にて、上海宮陵会の忘年

会・新年会を開催しました。

この会は前副会長の尾崎芳昭氏の送別会も兼ねたものでした。尾崎氏には3年間副会長を勤めて頂きましたが、退職帰任のため、副会長を退任されました。尾崎氏には、副会長在任中多大なご支援とご協力を頂きました。上海宮陵会発展のために、尽力して下さいました尾崎氏に、ここで上海宮陵会から厚くお礼を申し上げます。

次に、10月26日に、上海宮陵会総会を上海蟹で有名な陽澄湖(上海蟹料理)で開催しました。これは、三年連続で行っている好評の本場で上海蟹を食べるツアーです。宮陵会本部と大学から、宇久田専務理事と専務局次長がご出席下さいました。専務局次長は二度目の上海宮陵会のご出席で、母校の現状と発展計画について紹介して下さいました。

最後に、13年度の締めくくりとして、2014年1月25日、赤坂うまや静安本店(日本料理)にて、上海宮陵会の迎春会を開催しました。

上海宮陵会では、上記の様な恒例の活動の他にも、機会があれば、会員の間で、懇親会





最近では、中国も日本も就職難の時代といわれていますが、上海市およびその周辺の江蘇省、浙江省に進出している日系企業は一万四千社近くあります。また、昨年九月に上海自由貿易試験区が発足しました。これは、今後の中日経済貿易に無限のチャンスをもたらすに違いないと思っております。ですから、上海及び周辺地域では、就職のチャンスがまだまだ

も行われています。このように、上海及び上海周辺地域に活躍している神大卒業生の活動・交流の場、母校の情報を知る場となっています。

ところで、上海は魅力ある国際都市で、上海で元気に活躍している神大卒業生が沢山います。上海宮陵会の会長を勤めている韓興勇、副会長を勤めている王穎はともに上海海洋大学経済管理学院にて、教授をしています。さらに、韓興勇は上海海洋大学海洋文化研究センターの主任も勤めています。神大で学んだ知識を生かして大いに活躍しています。他にも、上海を舞台に、自分で起業したり、日系企業で活躍している神大卒業生が数多くいます。

だ豊富だと言えます。

こんな魅力的な都市上海で、上海宮陵会は会員全員の協力で、より良い会になるよう努力が続いています。上海宮陵会では、上海に夢を持つより多くの神大卒業生との出会いを待っています。

神奈川大学同学会大連宮陵会

会長 武井 克真

(平成18年・中国語学科)

大連での活動と在校生の皆さんへ

「国際化」や「グローバル」という言葉が、叫ばれるようになって久しいと思います。これらの言葉は、明確な定義も与えられないまま、一人歩きしているようにも思えます。あるいは、このような言葉には、私たち一人ひとりが、それぞれ定義を与えるべきなのかもしれません。ただ、まず1つ、「海外とのつながりを増す」ということは、国際化の一面面であるでしょう。

さて、中国遼寧省大連市で活動する大連宮陵会は、2011年9月に設立しました。この2011年は、神奈川大学と中国東北部との交流が、大きく前進した年でもありました。この年の8月に、神奈川大学は遼寧大学（瀋陽）と協定校となり、同10月には東北財経大学（大連）とも協定校となりました。このような背景もあり、私たちには神奈川大学の国際化の一翼を担っているという自覚もありますし、また、そうありたいとも願っています。

今では、大連宮陵会の会員数は約25名

となりました。会員の顔ぶれはもちろん、国際色豊かです。神奈川大学で学び中国へ帰った中国の卒業生（元留学生）、日本から海外へ飛び出し、活躍の場をこの地に求めた日本の卒業生、両者が集まり、国を越えた交流の場となっています。会員は若く、20歳代と30歳代が中心です。

また、卒業生以外であっても、国際交流に賛同する方々を特別会員として受け入れています。海外においては、外部の方々にも門戸を開くことが、神奈川大学の知名度向上につながると思い、開放的に活動しています。昨年2013年の定期総会では、経営学部の田中則仁教授をお招きし、講演会を開催しましたが、講演会は卒業生以外にも公開して行いました。

元留学生の会員たちは、正に「たくましい」の一言です。留学生活では、苦勞も多かったと思いますが、それにも負けず、海外で研鑽を積んだことが、彼らを強くしたのだと感じています。起業した人や日系企業管理職の人など、それぞれ場で活躍しています。

日本の卒業生は、新卒で大連に渡った人が大半です。文化や習慣、考え方の違いに戸惑ったこともあるでしょうが、そのような違いから、それぞれが何かを発見し、人生の糧としています。

大連宮陵会は、私たち神奈川大学卒業生の助け合いの場でもあります。何かあっても1人ではない。この大連に、しっかりと母校の輪が広がっています。

さらに、昨年からは、前述の東北財経大学と交換留学も始まりました。在校生

がこの大連へ来るようになり、私たち卒業生も在校生と交流できるようになりました。これは、本当に嬉しい国際化の進展です。

在校生の皆さんには、小さな殻に閉じこもらず、どんどん海外へ出て、見聞を広めて欲しいと思っています。海外での経験も踏まえて、「国際化」や「グローバル」とは何か、自分なりの答えを見つけて欲しいと思います。そして、偏狭な思考を打ち破り、真に国際的な視野を手に入れて欲しいと思います。私もこの大連で、それを目指しています。

海外の渡航先が大連なら、私たちは大歓迎です。大連宮陵会がありますから、余計な心配は要りません。心が決まったら、思い切って飛び出してみましょう。私たちは、ここで待っています。



鈴与
ホールディングス(株)
代表取締役社長

早川 巖さんに聞く



◎経歴

昭和18年7月24日生れ

静岡県牧之原市出身

昭和37年3月

静岡県立榛原高等学校卒業

昭和42年3月

神奈川大学経済学部卒業

昭和42年4月

鈴与株入社

(鈴与グループの母体会社)

平成13年11月

鈴与(株)取締役就任

平成25年4月

鈴与ホールディングス株代表取締役社長に就任し現在に至る

兼務として鈴与(株)代表取締役副社長、清水食品(株)・SSKセールズ

(株)・SSKプロダクツ(株)代表取締役

会長、(株)エスパルス特別顧問他

2社担当、さらに静岡県経営者協会

副会長ほか4団体の公職にも就任している。

◎鈴与グループ紹介

鈴与は享和元年(1801年)に静岡県清水港で廻船問屋「播磨屋」として創業。

現在鈴与グループは、約140社

売上高5、700億円の物流事業を中心に商品流通・建設・食品・航空事業他

を営む、静岡市に拠点を構える大企業。

当グループには「共生(ともいき)」とい

う、「自分を厳しく律して自己を確立

した時に始めて他者を返り観ることが

できる」という経営の拠りどころがあ

る。グループ各社はそれぞれの本業に

注力するとともに地域振興を中心とし

たさまざまな社会貢献を行っている。

・働く人達が問題意識をしつかり持ち、気持ち良く自信を持って働いてもらえるよう「場作り」「雰囲気作り」を大切にしている。

・企業で最も重要な資源は「人」であり、目標を作ったらそれを何としても皆で達成するという必達精神が必要だが、その前提になるのが職場の「場作り」「雰囲気作り」だと考えている。

◎特に記憶に残っている仕事

32歳から5年間、かつては超優良会社だったが16年間赤字が続いている食品会社に向向して現在の鈴与の社長と共に経営改革をし、2年目に黒字化し、再建した仕事。まず手を付けたのが、在庫が過剰な理由を徹底的に調べ、製販ギャップの解消、原価低減、商品アイテム数の大幅削減、倉庫の統廃合、営業強化等やり直し、1年間で在庫を1/3位に圧縮した。周りからはものすごい反発・反目を受け精神的にも肉体的にも大変だったが、黒字化したことで周りの見方が変わった。この仕事をやり遂げたおかげで企業人として成長できたし、一人前になれたように感じる。

◎組織を運営するうえでのポイント

会社の経営は「人」だと思う。組織を動かすべき能力のある人がいるかどうかをまず見極める。そして中心にな

る人と従業員とがコミュニケーションを図り、価値観を共有しているかを確認する。

鈴与グループでは、管理職を評価する場合、部下を育てるといふ評価軸に重きを置いている。そうしないと部下が育たないため、部下の育成を仕事の重要なファクターと捉えている。「人が育てば事業は育つ」と常々考えており、若いやる気のある部下にどんどん経験させることが、会社を活性化させる方策だと自分の経験から確信している。

◎後輩たちへのメッセージ

「仕事はいい加減な気持ちで取り組んでいては、何も自分にもたらしてくれない。どんな仕事でも真剣に立ち向かっていけば、自分の成長に繋がる何らかのものをもたらしてくれる」という信念を持っており、仕事とは「功德」のあるものだと考えている。仕事の好き嫌い、向き不向きが在ってもそれを超えて真剣に立ち向かえば、仕事にのめり込めるし、仕事を通じて何か感じることが出来る。さらに、素晴らしい人と出会えるチャンスもある。どんな仕事でも困難という「壁」はあるが、とても越えられないと思うような壁は何とか乗り越えた時に「見えないものが見えて来た」という感じがして、今までの自分より少しレベルアップした人間にきつと成長していると思う。「困難から逃げない」「ピンチはチャンス」という言葉を胸に仕事から多くを学ばせてもらってください。

◎サッカーリーグ

「清水エスパルス」の社長時代

鈴与で女子サッカーの支援をしていたが縁で、経営的に行き詰った清水エスパルスを再建することになり、途中の平成15年2月から8年間社長を務め

た。これまで26年間もサッカーに関わってきたことになる。社長は兼務だったため土・日曜日もなかった。特に子供達にサッカーを普及させる仕事を熱心に行った。具体的には、サッカースクールの開設し、幼稚園の園児からサッカーの楽しさを教えることでサッカーを普及させていった。スクール生徒数は1000人弱から3800人にまでなり、サッカーファンの裾野が着実に広がっていると思う。又、ホームタウンの地区毎に夜2時間程の講演会を催し、理解を求め続けた。このような施策を地道に行うことにより、清水エスパルスの1試合当たりの平均入場者数を毎年1000人ずつ増やしていくことができた。

◎神大時代の思い出

大学の職員に誘われて大学2年生から母子家庭の寮に慰問活動を行うようになった。特に大変だったので記憶に残っていることは、クリスマス前に横浜青少年ホールに横浜市内12か所の母子家庭の寮にバスで迎えに行き、500〜600人を招待して催し物をやったことだ。神大の吹奏楽部の演奏や父親の力強さを知らない子供達のために空手部の演武を見てもらったり多くのクラブの協力を仰ぎ、また食事を楽しんでもらい、そして企業を必死に回って協賛して頂いた品物をプレゼントしたりした。最後には皆さんが涙を流して喜んでくださった。

また、ゼミでは「金融論」の山口茂名誉教授に出会え、先生のもの考え方や理論に触れたこと、又、逗子のご自宅にもお邪魔して可愛がって頂いた先生は私の生涯の師として、私の心に永遠にいてくださると思っている。感謝に堪えない。

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

未来環境
テクノロジ(株)
代表取締役社長

正野幸延さんに聞く



2008年9月から学校法人神奈川大学の常務理事の職を務めておりますが、私にはもう一つ、重要な役割が与えられております。学校法人神奈川大学が全額出資する大学発ベンチャー、未来環境テクノロジ株式会社(株)の代表も務めさせていただいています。

未来環境テクノロジ株式会社は、本学が所有する研究成果や知的財産等を広く社会に還元することを目的に、2007年8月に設立した会社です。現在は、主に本学の田嶋和夫特別招聘教授らによって生み出された特許技術である「三相乳化技術」の技術移転・指導、コンサルティング、研究、開発、実用化といった事業を展開しています。

三相乳化技術は、従来、乳化に欠かされた界面活性剤の代わりに、柔らかい親水性ナノ粒子の物理的作用力(ファンデルワールス引力)を利用して新しい発想から生まれた技術です。界面活性剤を使わないこの技術は、物質固有の性質ではなく、粒子の大きさや形だけに依存する、従来とは全く

違う画期的なものです。

この技術を使えば、長期間、安定的に乳化状態を持続できたり、界面活性剤では不可能だった物質を乳化できたり、従来、乳化が難しかった製品や環境にやさしい乳化製品の開発を実現します。応用範囲が非常に広いという点でも魅力ある技術です。

本学は、この未来環境テクノロジ(株)を通じて、多くの企業と産学連携事業を展開しており、その成果は、食品、飲料、化粧品、薬品など様々な分野で活用されています。みなさんの暮らしの中には、神奈川大学の研究から生まれた三相乳化技術の使われた商品がいくつも存在するのです。インターネットで検索してみれば、その一端をご覧いただけると思います。

この度、これらの研究成果を在学生や卒業生をはじめとする多くの方々に知っていただくことを目的に、神奈川大学三相乳化研究開発プロジェクト、未来環境テクノロジ(株)および健康食品や化粧品のODM(Original Design Manufacturing)メーカーである株式会社東洋新薬との共同開発により、三相乳化技術を活用した神奈川大学オリジナルブランド化粧品「Naturatulle(ナチュラチュール)」を発表いたしました。

今回発表した「Naturatulle」ブランドの化粧品は2種類。化粧水、美容液、乳液、化粧下地などの機能を合わせた「Naturatulle KUオールインワ

ンジェル(ジェル状美容液)」と日焼け止め「Naturatulle KUモイスチュアUVミルク(日焼け止め美容液)」です。これらの商品は昨年、横浜キャンパスで開催したホームカミングデーでお披露目し、商品を手にとられた方も多かったのではないのでしょうか。

ホームカミングデーで購入された方からは、追加のご注文もいただいております。これらの商品が卒業生やご家族・ご友人の皆様にご喜ばれているというのは、卒業生の一人である身としても、大変うれしく思います。

発表した2つの製品、「オールインワンジェル」と「モイスチュアUVミルク」は、未来環境テクノロジ(株)を通じて販売しているほか、横浜キャンパスの神奈川大学生協、湘南ひらつかキャンパスの平塚研究支援課、中山キャンパスの附属学校事務室、富士見高原研修所、箱根保養所でも取り扱っていますので、お立ち寄りの際はぜひお手に取って、これら商品をご覧くださいればと思います。同時にみなとみらいエクステンションセンターでは、購入申し込みの受付をしております。

この他にも、もう一つご紹介いたしますと、ヘアケア分野で皆様もよくご存じの株式会社アトネイチヤーが、昨今、非常に大きな注目を集めるスカルプケア市場に参入する切り札として、昨年発売したスカルプケア製品「LABOMO(ラボモ)」にも、三相乳化技術が活かさ

れているのです。低界面活性剤を実現したシャンプーとコンディショナーに加え、界面活性剤を使用しない育毛剤がラインナップされた「LABOMO」も大好評だと聞いております。

これからも三相乳化技術が活用された新しい商品が市場に並ぶ予定でございます。一般消費者向け以外にも、事業用途での活用も進んでおり、応用範囲が非常に広い三相乳化技術を通じて、広く社会に貢献できるよう邁進する所存でございます。そうした活動がひいては、神奈川大学への貢献にも繋がるものと考えております。宮陵会会員のみなさまにおかれましては、母校同様に未来環境テクノロジ(株)の活動にもご支援をいただければと存じます。



右・Naturatulle KUオールインワンジェル(ジェル状美容液)
左・Naturatulle KUモイスチュアUVミルク(日焼け止め美容液)

平成26年度収支予算書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 事業活動収支の部			
1.事業活動収入			
①財産運用収入	101,000	151,000	△50,000
②会費収入	115,370,000	115,370,000	0
正会員会費収入	(5,370,000)	(5,370,000)	(0)
準会員会費収入	(110,000,000)	(110,000,000)	(0)
③奨学金貸付金回収収入	19,000,000	19,000,000	0
④雑収入	420,000	430,000	△10,000
事業活動収入計	134,891,000	134,951,000	△60,000
2.事業活動支出			
①事業費	130,328,000	131,474,000	△1,146,000
給料手当支出	4,907,000	4,906,500	500
派遣事務費支出	0	0	0
福利厚生費支出	900,000	800,000	100,000
慶弔費支出	2,120,000	2,200,000	△80,000
会議費支出	1,226,000	730,000	496,000
旅費交通費支出	5,665,000	5,519,000	146,000
通信運搬費支出	33,265,000	30,757,000	2,508,000
消耗什器備品費支出	0	0	0
消耗品費支出	1,845,000	4,415,000	△2,570,000
印刷製本費支出	8,080,000	7,003,000	1,077,000
賃借料支出	215,000	243,500	△28,500
諸謝金支出	745,000	480,000	265,000
支払負担金支出	7,500,000	8,500,000	△1,000,000
支払助成金支出	13,200,000	12,670,000	530,000
支払寄付金支出	29,500,000	31,600,000	△2,100,000
給付奨学金支出	20,000,000	20,000,000	0
委託費支出	1,000,000	1,500,000	△500,000
雑支出	160,000	150,000	10,000
②奨学金貸付金支出	20,000,000	35,000,000	△15,000,000
③管理費支出	29,162,000	35,736,000	△6,574,000
給料手当支出	4,907,000	4,906,500	500
臨時雇用賃金支出	2,000,000	1,000,000	1,000,000
派遣事務費支出	0	150,000	△150,000
福利厚生費支出	900,000	800,000	100,000
慶弔費支出	1,100,000	1,100,000	0
会議費支出	2,122,000	3,568,000	△1,446,000
旅費交通費支出	3,400,000	6,095,000	△2,695,000
通信運搬費支出	7,260,000	6,361,000	899,000
消耗什器備品費支出	200,000	200,000	0
消耗品費支出	640,000	630,000	10,000
印刷製本費支出	1,656,000	1,769,000	△113,000
賃借料支出	215,000	243,500	△28,500
諸謝金支出	35,000	34,000	1,000
委託費支出	3,462,000	7,559,000	△4,097,000
雑支出	1,265,000	1,320,000	△55,000
事業活動支出計	179,490,000	202,210,000	△22,720,000
事業活動収支差額	△44,599,000	△67,259,000	22,660,000
II 投資活動収支の部			
1.投資活動収入			
①特定資産取崩収入	49,000,000	49,000,000	0
②貸付金増減額	1,000,000	16,000,000	△15,000,000
投資活動収入計	50,000,000	65,000,000	△15,000,000
2.投資活動支出			
①特定資産取得支出	200,000	2,200,000	△2,000,000
投資活動支出計	200,000	2,200,000	△2,000,000
投資活動収支差額	49,800,000	62,800,000	△13,000,000
III 予備費支出			
予備費支出	213,946,207	208,745,207	5,201,000
当期収支差額	△208,745,207	△213,204,207	4,459,000
前期繰越収支差額	208,745,207	213,204,207	△4,459,000
次期繰越収支差額	0	0	0

宮陵会だより

平成26年度事業計画
収支予算書
目的別正味財産増減予算書
理事会開催状況
定時総会
監査

全国地域組織代表者会議
女性委員のつどい
各種委員会開催状況
地域組織総会等開催状況
その他卒業生の集い
新規設立地域組織

解散
表彰者
新地域組織代表者紹介
計報
地域組織総会の予定

平成26年度 事業計画・予算書

■平成26年度事業計画

I 神奈川大学の進展と維持に必要な事業

1. 神奈川大学教育振興事業

(1) 神奈川大学事業協賛寄付等

① 大学一般公開講座の協賛

神奈川大学が主催する一般公開講座への協賛

② ホームカミングデーへの協賛等

神奈川大学が主催するホームカミングデーへの協賛等

③ 卒業祝賀行事の共催

新卒業生に対し、卒業祝賀会費用等を大学・

神奈川大学後援会と分担し援助

(2) 神奈川大学在學生課外活動等支援事業

① 学生課外活動助成金

在学生特別事業

在学生等に対する講演会及びスポーツ大会の開催

② 学生課外活動助成金

競技大会参加費、OB

指導者交通費の助成等

(3) 神奈川大学「教育振興基金」への指定寄付

神奈川大学教育振興基金規程第6条第1項に関する寄付

① 奨学金給付 第1号

② 課外活動奨励 第2号及び第3号

(4) 学校法人神奈川大学「米田吉盛教育奨学金」募金

への指定寄付

(5) 「神大スポーツ・文化振興会」賛助金募集

神奈川大学のクラブ・サークルに対する賛助金の募集

(6) 神奈川大学プロジェクト研究所等活動奨励

(7) 学校法人神奈川大学総務部校友課への協力

宮陵会奨学金の給付・貸与事業

(1) 給付奨学金

学部学生と大学院生を対象とした給付奨学金

(2) 特別給付奨学金(課外活動支援特別給付金)

神奈川大学指定強化部制度第1種・第2種指定強化部に所属し、優れた能力を有する学生を対象とし、学費等を四年間にわた

(3) 貸与奨学金

一時的経済困難の学部学生に対する学費の資金としての貸与奨学金

II 会員相互の連携強化、その他本会の目的達成に付随する事業

1. 会員間の情報共有事業として、会誌「宮陵」63号、「宮陵会報」98・99号の発行他、広報事業 会誌は正会員に送付 会報は住所判明者全員に送付

2. 会員の連携を深めるための事業

(1) 全国地域組織代表者会議の隔年開催(平成26年度は休会)

(2) 地域組織の活動に対する支援、助成

① 地域組織総会本会出席時祝金、交通費及び地

地域組織総会資料発送通信費等

② 地域組織総会通信費助成(職域・同期・同好を除く)、地域組織設立周年行事経費の助成、準会員地域組織総会参加費助成

(3) ブロック会議への支援

ブロック会議開催地域組織経費助成、ブロック内参加地域組織の旅費交通費の助成

3. 組織基盤確立のため、地域組織の設立・再建への支援

4. 新入生(準会員)への記念品贈呈

5. その他目的達成に必要な事業

III 本部関係

法人会議

平成26年度目的別正味財産増減予算書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位：円)

科 目	実施事業等会計	その他会計	法人会計	合 計
I 一般正味財産増減の部				
1.経常増減の部				
(1)経常収益				
①財産運用益	0	0	101,000	101,000
基本財産受取利息	0	0	1,000	1,000
特定資産受取利息	0	0	100,000	100,000
②受取会費	0	0	115,370,000	115,370,000
正会員会費	0	0	5,370,000	5,370,000
準会員会費	0	0	110,000,000	110,000,000
③雑収益	0	25,000	395,000	420,000
受取利息	0	25,000	15,000	40,000
雑収益	0	0	380,000	380,000
経常収益計	0	25,000	115,866,000	115,891,000
2.経常費用				
①事業費				
給 料 手 当	0	4,907,000		4,907,000
臨 時 雇 用 賃 金	0	0		0
派 遣 事 務 費	0	0		0
福 利 厚 生 費	0	900,000		900,000
慶 弔 交 際 費	0	2,120,000		2,120,000
旅 費 交 通 費	0	5,665,000		5,665,000
通 信 運 搬 費	0	33,265,000		33,265,000
消 耗 什 器 備 品 費	0	0		0
消 耗 品 費	0	1,845,000		1,845,000
印 刷 製 本 費	0	8,080,000		8,080,000
会 議 費	0	1,226,000		1,226,000
賃 借 料	0	215,000		215,000
諸 謝 金	0	745,000		745,000
支 払 負 担 金	0	7,500,000		7,500,000
支 払 助 成 金	0	13,200,000		13,200,000
支 払 寄 付 金	29,000,000	500,000		29,500,000
給 付 奨 学 金	20,000,000	0		20,000,000
委 託 費	0	1,000,000		1,000,000
雑 費	0	160,000		160,000
事業費計	49,000,000	81,328,000	0	130,328,000
②管理費				
給 料 手 当			4,907,000	4,907,000
臨 時 雇 用 賃 金			2,000,000	2,000,000
福 利 厚 生 費			900,000	900,000
慶 弔 交 際 費			1,100,000	1,100,000
旅 費 交 通 費			3,400,000	3,400,000
通 信 運 搬 費			7,260,000	7,260,000
消 耗 什 器 備 品 費			200,000	200,000
消 耗 品 費			640,000	640,000
印 刷 製 本 費			1,656,000	1,656,000
会 議 費			2,122,000	2,122,000
賃 借 料			215,000	215,000
諸 謝 金			35,000	35,000
委 託 費			3,462,000	3,462,000
雑 費			1,265,000	1,265,000
管理費計	0	0	29,162,000	29,162,000
経常費用計	49,000,000	81,328,000	29,162,000	159,490,000
当期経常増減額	△49,000,000	△81,303,000	86,704,000	△43,599,000
2.経常外増減の部				
(1)経常外収益	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0
(2)経常外費用	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替額	49,000,000	81,328,000	△130,328,000	0
当期一般正味財産増減額	0	25,000	△43,624,000	△43,599,000
一般正味財産期首残高	0	161,943,197	178,215,587	340,158,784
一般正味財産期末残高	0	161,968,197	134,591,587	296,559,784
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0
III 正味財産期末残高				296,559,784

- (1) 定時総会の開催
平成26年6月7日(土)
- (2) 理事会の開催
年間6回開催
5・7・9月、
11・1・3月の土曜日
- (3) 各種委員会の開催(総務
財政・事業・組織・女性・広
報)各委員会の開催
- (4) 選挙管理委員会の開催
平成27・28年度の代議員
を選出する選挙の実施
財政基盤の確立
- (1) 会費納入の促進
財政基盤確立のため、未
納会員への納入案内を継
続的に行い未納会員の納
入促進に努める。

- 理事会開催状況**
- 平成25年4月10日(水)
議案
1. 役員の数に関する件
 2. 役員選挙管理委員会委員の
任命に関する件
 3. 一般社団法人神奈川大学宮
陵会委員会規則に基づく各
委員会の委員長・副委員
長・委員の選任に関する件
 4. 名誉役員への委嘱に関する件
 5. 一般社団法人神奈川大学宮
陵会職員任用規程に関する
件
- (2) 「神奈川大学校友V.I.S
Aカード」の入会促進
新卒業生への案内配布及
び正会員への広報

- 平成25年5月25日(土)
議案
1. 平成24年度事業報告及び決
算に関する件
 2. 平成25年度補正予算に関す
る件
 3. 表彰規程にもとづく被表彰
者の決定に関する件
 4. 一般社団法人神奈川大学宮
陵会職員任用規程に関する
件
 5. 一般社団法人神奈川大学宮
陵会職員への賞与及び退職金
に関する件
 6. 平成25年度定時総会の開催
に関する件

- 平成25年6月15日(土)
議案
1. 会長、副会長及び専務理事
の選任に関する件
 2. 理事の職務分担に関する件
 3. 支部解散の承認に関する件
 4. 今後の会議日程に関する件
 5. 平成25年度事業計画書及び
収支補正予算書に関する件
- 平成25年7月8日(月)
議案
1. 平成25年度予算に関する件
 2. 平成26年1月25日(土)
議案
 3. 平成26年度定時総会の開催
に関する件

- 平成25年7月8日(月)
議案
1. 平成26年度事業計画及び収
支予算に関する件
 2. 代議員選挙・役員選挙改正
(案)に関する件
 3. 代議員選挙・役員選挙改正
(案)に関する件
 4. 地域組織解散の承認に関す
る件
 5. 地域組織設置の承認に関す
る件
- 平成26年3月8日(土)
議案
1. 平成26年度事業計画及び収
支予算に関する件
 2. 代議員選挙・役員選挙改正
(案)に関する件
 3. 代議員選挙・役員選挙改正
(案)に関する件
- 平成26年3月29日(土)
議案
1. 代議員選挙・役員選挙改正
(案)に関する件
 2. 一般社団法人神奈川大学宮
陵会地域組織活動助成金取
に関する件

- 全国地域組織代表者会議**
- 平成25年6月15日(土)
- 監査**
- 平成25年4月22日(月)
平成24年度監査
- 定時総会**
- 平成25年6月15日(土)
1. 平成24年度平成24年4月
1日から平成25年3月31日
までの決算承認の件
 2. 役員理事20名、監事3名
選任の件
- 扱規則の改正に関する件

一般社団法人移行後の地域組織(旧支部)の運営について

女性会員のついで

平成26年3月15日(土) 東京スカイツリー (展望デッキ)見学

各種委員会開催状況

平成25年

- 4月9日 広報委員会
11日 財政委員会
13日 役員選挙管理委員会
23日 役員選挙管理委員会
30日 役員選挙管理委員会
5月7日 役員選挙管理委員会
9日 表彰委員会
11日 役員選挙管理委員会
16日 役員選挙管理委員会
7月17日 広報委員会
8月29日 事業委員会
9月14日 総務財政委員会
10月8日 広報委員会
11月14日 広報委員会
12月11日 広報委員会
25日 事業委員会

平成26年

- 26日 事業委員会
1月17日 広報委員会
31日 女性委員会
2月7日 女性委員会
13日 総務財政委員会
25日 広報委員会
3月4日 広報委員会
7日 事業委員会
8日 総務財政委員会
24日 広報委員会
28日 事業委員会
28日 広報委員会

地域組織総会等開催状況

- 4月20日 南区臨時総会
戸塚・栄区総会
港南区総会
ラグビー部OB会総会
5月15日 三三三会総会
横浜北総会
18日 自動車工学研究部OB会総会
25日 苫小牧総会
三重県総会
秦野市総会
6月1日 陸上競技部OB会総会
2日 茨城県総会
8日 近畿ブロック会議
和歌山県総会
北見総会
愛媛県宇和島地区会
写真研究部OB会総会
9日 三浦半島総会
22日 愛知みやも会総会
大阪府総会
岡山県総会

- 23日 京滋総会
25日 神奈川大学内総会
29日 群馬東毛総会
保土ヶ谷旭区総会
空手部OB会総会
学士山岳会総会
7月6日 群馬総会
鳥取伯耆総会
バスケットボール部OB会総会
帯広総会
会計人会総会
佐賀県総会
南足柄市総会
兵庫県総会
福岡総会
旭川総会
秋田県総会
磯子区臨時総会
山形県庄内地区会
鳥取因幡総会
北海道ブロック会議
九州ブロック会議
熊本大会
同学会大連総会
ヨット部OB会総会
岐阜県総会
静岡西部総会
社労士会総会
高知県総会
大分県総会
西多摩総会
奈良県総会
室蘭総会
川本工業総会
三十路会総会
吹奏楽部OB会総会
北陸ブロック会議
富山県総会
同学会上海総会
大阪府泉州地区会
横浜信用金庫総会
山形県総会
レスリング部OB

- 8日 函館総会
9日 四国ブロック会議
香川県臨時総会
宮城県総会
新潟県総会
卓球部OB会総会
硬式野球部OB会総会
鹿児島県総会
東北ブロック会議
岩手県総会
青森県総会
中国ブロック会議
広島県総会
北九州総会
相模原総会
ボクシング部OB会総会
秋田県鹿角地区会
神奈川地区総会
柔道部OB・OG会総会
福島県総会
愛媛県大洲・喜多地区会
香川県総会
平塚市総会
長崎総会
磯子区総会
茅ヶ崎・寒川総会
島根総会
2月1日 愛媛県総会
7日 佐世保総会
8日 山口防長総会
16日 筑豊総会
22日 熊本県総会
3月5日 珊瑚の会総会
23日 藤沢総会
25日 三洋みやも会総会

その他卒業生の集い

4月14~15日 昭和38年入学同期会

- 6月22日 神大軽スポーツOB会
7月20日 山梨中央銀行神大同窓会
10月12日 剣道部創立80周年記念祝賀会

新規設立地域組織

男子ラグクロス部OB

解散

みやも電華会
昭和電線

表彰者

- 功労表彰
1. 本部関係
35経 大澤 武法 (元専務理事・理事)
41法 武笠 健次 (元副会長・専務理事・理事・代議員会副議長)
43経 瀬尾 博 (元理事・組織委員長)
47経 52経修 澤木 武美 (元理事・準会員委員長)

- 感謝表彰
1. 支部関係
37経 鈴木 英司 (札幌支部支部長)
38電 山内 俊一
2. 支部関係
25賢 野道 昭三 (元神奈川支部支部長・副支部長)
23日 藤沢総会

- (元秋田支部 副支部長・幹事) 42経 東 恒夫 (元石川支部支部長・副支部長)
36法 川崎 太三郎 (元京滋支部支部長)
33短機・40電 塚田 幸男 (元藤沢支部幹事)
35賢 武井 正人 (元藤沢支部幹事)
37経 目黒 英昭 (元藤沢支部幹事)

新地域組織代表者紹介

- 青森県 佐藤 文一 (48法)
柔道部OB・OG会 松井 一郎 (53経)
茅ヶ崎・寒川 小坂谷義夫 (41法)

訃報
謹んでお悔やみ申し上げます

- 柴崎 晃殿(41電) 前函館支部長
平成26年1月18日

地域組織総会の予定

- 岡山県総会 平成26年5月17日(土)
津久井総会 平成26年5月18日(日)
札幌総会 平成26年6月7日(土)
群馬総会 平成26年7月5日(土)
近畿ブロック会議(兵庫県) 平成26年7月13日(日)
北陸ブロック会議(福井県) 平成26年9月20日(土)

活性化している地域組織

- 熊本県宮陵会
- 愛媛県宮陵会
- 大阪府宮陵会
- 三重県宮陵会
- 岩手県宮陵会

もつこす魂。火の国熊本の 繋ぎ続ける熱き想い

熊本県宮陵会

火の国熊本の熊本県宮陵会は、2014（平成26）年12月に60周年を迎えますが、これまでの道のりは決して順風満帆ではありませんでした。

創設にあたっては、1954（昭和29）年に労働基準局の新局長として佐間田睦雄氏（昭和16年法律）が赴任されたことを契機に、上羽勝夫氏（昭和15年商業・株式会社大海水産勤務（当時））、松浦敬三氏（昭和16年貿易・県警本部勤務（当時））、吉田曉弘氏（昭和16年商業・NHK熊本放送局勤務（当時））といった数名の熱き先輩方の礎によるものでした。

その後、創設期の諸先輩が、定期的に会合を行うとともに、様々な人脈を通じて県内の同窓生の掘り起こしを行いました。そんな折1961（昭和36）年に母校より熊本市内で在校生のハワイアンバンドが演奏会を行うため応援依頼があり、県内同窓生のさらなる掘り起こしを行ない、演奏会は大成功、益金で毎晩飲み歩き同窓生の絆を強めました。このような気概のもと、1965（昭和40）年に同窓生80名の名簿を作成、米田学長らの臨席のもと同窓会を実施しました。

一方同時期天草本渡地区では、古瀬英治氏（17年商業）、中西敏男氏（18年法律）が中心になり天草地区の同窓の掘り起こしをし、15名程の同窓を集めました。また二人は昭和60

年頃神大の分校を天草に誘致しようと大学に陳情を行いました。

創設期に母校への熱き思いを胸に活動された初代支部長の上羽氏の後を1983（昭和58）年より2代目支部長を深川敬一氏（昭和17年商業）が引き継ぎました。深川氏は同窓会の際支部長自ら一軒一軒電話勧誘を行ない、従来以上の同窓生を掘り起こし、300名同窓生名簿を作りあげました。

その後、さらなる支部の活性化を期して、1993（平成5）年に3代目支部長河村悠一氏（昭和30年経済）が就任しましたが、不運にも任期途中で病魔に侵され死去、副支部長の任にあった藤崎洋三氏（昭和33年経済）が支部長代行を務めました。その後1998（平成10）年に藤崎氏は、正式に4代目支部



長に就任、中興の祖として活躍されました。活性化の取り組みは、2000（平成12）年2月に同窓生間の意思の更なる疎通を図ることを目的に、理事の門脇昭昭氏（昭和30年法律）が尽力し、会社経営に携わる同窓生の広告協賛のもと「熊本支部便り」を発行し県内の同窓生に配布しました。

また、藤崎氏は在任中理事会を三木会と改名し、月1回第3木曜日確実に開催し、支部総会の日にはゴルフコンペを行うほか、釣り、市場見学などの有志による親睦イベントも開催しました。

2004（平成16）年2月に5代目支部長として長く事務局長を務め副支部長の任にあった中川眞澄氏（昭和40年工経）が就任し、支部創立50周年の記念祝賀会を盛大に行ないました。

支部活動としては、総会及び地区会（天草、城北、城南、人吉・球磨）のほか、2007（平成19）年6月には、「慶祝会」という全国に先駆け取り組みを行っています。慶祝会とは、支部会員で白寿・卒寿・米寿・傘寿・喜寿・古希・緑寿・還暦・厄入・厄晴れ等の年祝いを迎えられた方を招待し、神大グッズを記念品として贈呈し出席者で祝福しています。また、慶祝会の当日にゴルフコンペを行ない慶祝会の席で表彰しています。

熊本県宮陵会は、支部創設時から母校への想いが強く、大学及び在学生への支援を行っています。2006（平成18）年に第29回全日本大学軟式野球選手権大会が熊本で開催され、平塚軟式野球部が出場した際は、熊本支部員が球場へ駆けつけ父兄、学生達と試合の応援をし、懇談を行うなど新たな試みが行わ

れました。2011（平成23）年再び熊本で開催された第34回全日本大学軟式野球選手権大会においても、さらに多くの支部の同窓生が球場まで足を運び声援を送り準優勝をバツクアップしました。その後、平塚軟式野球部へ「頑張り神奈川大学平塚軟式野球部!! 全国制覇!!」の横断幕を贈呈し全日本大会での優勝を鼓舞しました。

2009（平成21）年9月には本学水泳部が出場するインカレがアクアドームくまもとにて開催され、支部により応援と選手への支援がされました。

また、2012（平成24）年9月には吹奏楽部による特別地方公演が熊本県立劇場にて開催され支部をあげてチラシの配布等を行い、1810名収容の会場を埋めることに奔走し、熊本市内最大の祭り（藤崎宮秋の例大祭）や吹奏楽イベントとの日程の重複、それに台風接近の逆境をはね除け入場者を確保するとともに、その演奏は入場者に感激と感動を与えました。

熊本支部には、多才な卒業生がいます。2006（平成18）年に浦田剛敏氏（昭和46年法律）が「宮陵会くまもと支部の歌」を作詞作曲し、毎年の支部総会において横浜専門学校校歌、神奈川大学校歌とともに熱唱しています。2012（平成24）年には、ホームカミングデーにおいてミニ公演を行いました。

さらに各地区会の確立と開催に合わせ、卒業生情報共有と平成卒の同窓生の発掘をし、名簿の刷新



をしました。

熊本県は箱根駅伝の父、金栗四三翁を輩出したこともあり、駅伝への想いは他県に勝るものがあります。九州各県対抗駅伝に当時予備校に通いながら熊本代表で出場していた福田健太氏（平成25年人間科学）に対し、同窓生が予備校まで出向き本学を紹介。また人吉・球磨地区の同窓生が高等学校に出向き本学を紹介したことにより、上村聡一朗氏（平成25年経）が入学するなど、同窓生が常に母校を想い、本学のことをアピールしています。箱根駅伝で福田氏が出場した際には、支部で作成した「がまだせ!!火の国健児」の横断幕を沿道に掲げ応援を行い、また各選手が帰郷する際には、支部及び地区会により激励会を開催するなど、在校生への支援と交流が頻繁に行われています。また、従前より金栗記念熊日30キロロードレースに招待され激走する陸上競技部の卒業生及び在校生に対して支部による沿道での応援が行われています。さらに、近年卒業した福田氏や上村氏が出場した熊本城マラソンにおいても、支部をあげて応援が行なわれました。このように支部のサポートにより入学した学生が、卒業後Uターンし県内で活躍し、さらに支部でのネットワークを広げていくことにより幅広い年代での交流が行われることこそまさしく糧をつなぎ深めていることだと思えます。

このように、60周年を迎える熊本県宮陵会ではありますが、当然のことながら同窓会への無関心、出欠の返信をしない、支部総会等へのリピート率の向上など課題はあります。しかしながら、県内出身者や来熊した在学生と同窓生との絆を深めていくといった様々な取り組みを行うことで、大学・宮陵会の発展と支部の活性化に貢献していきたいという「もっくす魂」が脈々と流れています。肥後モッコスとは、自分の価値観を譲らない頑固者という意味ですが、反面、目標を決めたらひた向きに取り組み強い意志という意味があり、本学が「一番前を走る夢」（熊本支部の

歌の一節）をいつか再現してくれると信じて、一步一步確実に前へ進むという志のもと熊本宮陵会の活動が日々行われています。

●取材：田島陸浩（平成9年 国際経営）

米田吉盛先生の故郷 内子町を訪ねて

愛媛県宮陵会

愛媛県宮陵会総会（平成25年度）が、2014（平成26）年2月1日、国際ホテル松山にて開催された。総会の出席者は20名を超え、昭和30年代半ばから平成10年卒業までの幅広い年代の方々が集まり、旧交を温める機会となった。

このたび地方組織の現況などについて取材するため、総会に出席し、愛媛県宮陵会会長八木健治氏、事務局明比紳一郎氏ほかの方々にお話しを伺った。

まず、取材テーマの一つであった近年の課題となっている新会員の確保について耳を傾けた。これは総会の事業報告の中で取り組みの様子が披露され、高い関心を持っていることが窺われた。とりわけ若い年齢層の参加増に腐心されており、個人情報取り扱いが厳しく求められる昨今であるが、更新される名簿などから新しい会員対象者を発掘し、参加されるよう積極的な呼びかけを行なっているという。ただ、そもそも愛媛県や地方からの進学者が減っているという昨今の大学を取り巻く社会状況の指摘もあり、これには地方出身者を受け入れるための大学側の諸施策や設備などの充実化が必要であろう。

このように新会員の確保が難しく、参加者が固定してしまうくらいがあるなか、愛媛県宮陵会の活動は、総会といった集いのほかに、宇和島、大洲・喜多・八西、東予などの地区会における催しを通して、「交流」と「親睦」を図ることに主眼が置かれているという。なお、女性会員の参加については、愛媛県にお

いては少ないとのこと、女性がグループなどで来られる催物を企画するなど、参加しやすい雰囲気作りを心がけたいとのことであった。

ところで、愛媛県は本学の創立者である米田吉盛先生の生誕地である。そこで総会の翌日に先生の故郷である喜多郡内子町へ、大洲・喜多・八西地区会長の二宮正行氏、同事務局松本延二郎氏、森田政昭氏のご案内で見学した。はじめに神奈川大学創立80周年記念事業の一環として設けられた米田吉盛記念公園（きずな公園）を訪れ、次に米田家の菩提寺である正覚寺など先生ゆかりの地をたずねた。そして、各施設を巡り、先生を育んだ内子の風土に触れた。先生の小伝である「教育は人を造るにありー米田吉盛の生涯」（神奈川大学米田吉盛伝編集委員会編、御茶の水書房、2008年）によれば、先生は、旧満穂村論田Ⅱ内子町の北西部で生まれ育った。生家は山間の集落で、なかでも山深い木々にかこまれたところであったという。実際にその周辺を訪れて、その記述に首肯した。しかし、それは決して閉塞感を意味するものではなく、近くの頂きからの眺望は、むしろ山々の向こう側に広がる世界と未来を感じさせるものであった。



きずな公園のモニュメントの日本地図には、内子と、先生にとつてその「向こう」となった横浜の場所に印がつけられている。その印が示す内子と横浜の結びつきは、ご案内のお三方からも感じられた、先生と神奈川大学に対する思いそのものである。このたび大学の新3号館には、創立者・神奈川大学史展示室が設けられることになり、そうした内子と横浜の繋がりを歴史から確認できる新しい施設ができた。深いゆかりがある愛媛県宮陵会にはこの施設を活用いただくなど、会のさらなる盛会を期待するものである。

再建総会からの30年

大阪府宮陵会

〈はじめに〉

本会の前身である(旧)大阪支部発足以来約30年に亘り支部長として活躍された諫山正三先輩(10賢)が、昭和50年代半ばに体調を崩されて以来支部活動は休眠状態となり、事態を憂慮して同窓会本部より常務理事武笠健次氏が来阪し、勝谷芳良先輩(13商)に支部の再建の要請をされた次第です。依って要請を受けた勝谷先輩を軸に7名の発起人が中心となり大学及び同窓会本部の指導と協力、そして近隣府県の卒業生による積極的な参加も相まって昭和58年9月3日、近隣各支部より多数の賛助出席者も含め約130名の同窓生で再建総会を開催し、支部長に勝谷芳良氏を選出した。

諫山正三先輩は固より低迷期での支部活動を担われた多くの諸先輩の方々に敬意を表します。

再建以後、現在に至る諸活動の概要を紹介させていただきます。

・再建された支部は、組織も定着し円滑に運営が出来る状況が見えたのを期に佐々木真一

先輩(16賢)が支部長になられ先ずは会員相互の交流の場が必要と月1回飲食を共にする懇親の場を設けられました。これが現在「宮陵会関西倶楽部」として毎月第4金曜日に開催している定例会です。又、毎年忘年会、新年会を交互に行っております。

・次に懇話会の開催です。これは各界で活躍されている会員の方を講師として招き貴重なお話しをいただいております。開催は隔年で現在まで13回開催しております。

・会員の趣味を生かした同好会としてゴルフコンペの開催です。現在会長杯(支部長杯)G・Cとして継承されています。年2〜3回の開催です。通算50回を数えております。又、ゴルフコンペ同様、現在「広く旅する会」として旅行会がござります。同会は海外旅行を毎年1回実施し台湾、韓国、中国、タイ、インドネシア他13回開催しております。

・国内旅行に変更した年もござります。佐々木支部長の後を受けた川口静夫支部長(30経)にあつては支部活動再開10周年に当



たり、記念総会を開催し、併せて会員名簿の発刊を行いました。

・平成10年根来道徳氏(法37)が支部長(現会長)となり、先ず組織の活性化と会員の活動参加促進策の一環として、大阪府の南北に地区会(泉州会・北摂会)を発足させました。現在、隔年で各々独自の企画に依るイベントを実施しております。今後の課題としては大阪の中央部を如何にすべからざるべきかあります。何分にも昼間人口の街であり併せて転入、転出の頻度が高く、潜在会員も多く居ると思われるエリアです。顕在化させる方策を検討中です。

・母校が箱根駅伝に出場しても、現地まで応援に行くことが叶いませんので1日目(往路)に会員が飲食店(貸切り)に集まり、スタートからゴールまで応援の集いを行っております。

・近年、新しい活動として大阪府内のスポーツ施設において母校が出席する大会には必ず役員を動員し併せて一般会員にも呼び掛けて会場へ激励と応援に出向いております。(競泳、大学女子サッカー、シヨートトラックスピードスケート等)

・近畿圏の各宮陵会(支部)の連携を深め併せて情報交換の場として近畿ブロック会議を各府県持ち回りで幹事を務め毎年開催しております。

・現在大阪府の会員は約560名です。最盛期の800余名からすれば大きな減少です。(昭和卒78%、平成卒22%)

・総会案内の出欠返信は約16〜17%

・年会費(2,000円)の納入実績は12〜3%

課題は山積です。概ね内容は各地域組織共通の問題ではないかと思えます。即効性のある打開策など容易なことではありません。同窓仲間の連携と親睦、母校の大いなる発展を活動の糧として今後とも努力を続けていく所存です。

〈終わりに〉

世代・地域を越えた ネットワークづくり

三重県宮陵会

神奈川大学宮陵会の地域組織、東海プロットの活性化している組織の1つとして挙げられるのが三重県宮陵会である。今回、三重県の伊勢の国への玄関口とされ、「水郷の町」と称される三重県桑名市で、会長の本田進さん(昭和48・機械卒)と理事(会計)早川淳さん(昭和55年・機械卒)のお二人に三重支部の活動についてインタビューした。

■三重県宮陵会の活動について

平成24年度から役員改選にともない新体制で三重県宮陵会は活動をしてきました。「世代・地域を越えたネットワークづくり」を目指すことを目標に掲げ、それを具体的に実現するため、従来開催してきた交流会を事務局が主に担当として実施することにしました。交流会は2005年の4月から開催しており、年4回開催し、現在にいたるまでには全35回開催をしています。また、交流会だけでなく、年1回の総会も恒例行事の1つです。支部総会を開くにも、三重県は広い県ということもあり、なかなか会員の方々が集まりに



くい環境ではありませんが、最近では、スマートフォン等の普及やインターネット環境もブロードバンド化が進み、フェイスブックやツイッターなどのSNSは当たり前の時代。この環境を十分に使いこなすことで、各地区との情報共有を図り、地域交流がさらに深まる方法の1つと考えています。

しかし、三重県宮陵会会員の大多数が年齢層の高い会員なのが現状です。時代に合わせた情報を発信してもなかなか見てもらうことができません。需要に合わせた情報発信をするため、「MIE NEWS」という会報誌を年1回発行し、多くの会員に三重県宮陵会の活動や現状を伝えていきます。MIE NEWSの内容には、昨年度の活動報告や、次の交流会の案内を載せるなど、その年によって様々です。少しでも総会や交流会の参加人数を増やすため、多くの会員の皆さんに読んでもらい、三重県宮陵会の活動に参加するきっかけになればと期待をして発行しています。

また、三重県宮陵会の活動の1つとして挙げられるのが、ホームページが存在することです。機会があれば、1度三重県宮陵会のホームページも見てください。MIE NEWSの記事の掲載はもちろん、交流会を開催した時の記事も、必ず写真付きで掲載しています。



文章だけでは面白くないので、必ず交流会などの行事の時には写真を撮り、写真付きの記事を掲載しています。

■催物等の企画は
どのようなものがありますか

地元の人が行っている行事と一緒に参加させてもらうことがあります。町おこしをしている場所に行き、町おこしの一環として開かれている行事に参加することでたくさん刺激をもらうことができます。その中で多くの人との出会い、人とのつながり合いも形成されるので、1つ1つの活動には必ず意味があります。これからも人とのつながり合いを大事に、交流会などの活動を活発に行っていくと思います。

■新しい会員の確保策はありますか

新しい会員は年々少しずつ増えてはいますが、年齢層の若い会員や女性会員はなかなか増えません。神奈川大学の陸上競技部が全日本大学駅伝対校選手権大会に出場が決まれば、集中応援ポイントなどで年齢層の若い会員と出会うきっかけにもなります。母校が活躍するのはとてもうれしいですし、三重支部の活動を周知できる良いきっかけにもなるので準会員のみなさんにはこれからも頑張ってもらい希望です。

■活動するにあたり大事なことは何ですか

とにかく総会や交流会、会報誌の発行などの活動を続けることです。活動を続けていくことで、仕事の第一線を退いた会員が三重県宮陵会に加わる可能性があります。今まで参加できなかった会員が、なにかをきっかけに参加できる会員に変われることを期待し、大きい小さいに関わらず、活動を地道に続けていくことが一番大事なことだと思っています。

■インタビューを終えて

取材を行う前に、三重県宮陵会のホームページを見て、どのような活動をしているのかを事前に調べて行きました。様々な活動を勢力的に行っている印象は受けていましたが、実際にお話を伺ってみると、私が想像してい

た以上に活発的な活動を行っていました。年齢層の若い会員や女性会員が増えることで、今以上に活性化され、活動の幅も広がります。「今できることをコツコツ」という三重県宮陵会の精神が活性化している秘訣だと思えます。今後の三重県宮陵会のさらなる発展に期待しましょう。

年間参加
延べ総数135名

岩手県宮陵会

岩手県宮陵会は昭和24年から活動が始まり、設立以来60年を超す全国的にも歴史のある会です。今でも専門学校卒生(90歳)から卒業したばかりの新会員(22歳)まで70年の世代を超えて集い、横浜、を肴に大いに盛り上がりがあります。この伝統を築いていただいた諸先輩に敬意と感謝の気持ちを持って数々の事業やイベントを進めています。

1、定時総会(11月)、

2、新年交賀会(2月)、

3、レクリエーション交流会(6月)

※ゴルフ・ボーリング・麻雀に参加して夜は表彰式を兼ねた懇親会

4、納涼ビアパーティ(8月)

※岩手出身3〜4年の在校生にも案内。学生・若手会員向けの「就活」セミナーを開催。終了後に懇親会

年四回定期的に開催しています。

他に「父母懇談会」が盛岡で開催される前夜には「学長を囲む会」も隔年で開催しています。そのほかに各地区で会合を持っています。平成25年度の参加延べ総数は135名にも達しています。(一回以上の参加者数は73名)

在校生にも案内している「納涼ビアパーティ」を企画して以来、在校生が少しずつ参加傾向にあり、卒業後も各種会合にも参加してくれています。平成卒会員が10名を超える会

も増えてきました。

「大学の価値は卒業生が、いかに社会に貢献したか」と大学及び宮陵会の方々がおっしゃっていますので、我々現役員も大学で学んだ「質実剛健」の校風と諸先輩の「いきざま」を若手会員に伝授し、交流を通して育てていく事をテーマとして活動しています。

昨年の若手会員との交流事業で二つの試みも行いました。

トヨタ自動車東日本岩手工場硬式野球部に阿世知暢君(平成24年人間科学部卒・硬式野球部)が入社。エース投手として一年目から活躍、二年目、都市対抗野球岩手大会では最高殊勲投手として活躍し、東北大会に進出するも、全国へは惜しくも届きませんでした。岩手に勤務してからは「阿世知君を励ます会」を開催。又、公式戦には「宮陵旗」を持って応援ツアーを企画して彼の活躍振りを楽しんでいます。もし、今年「東京ドーム」まで進出した際には、是非応援宜しくお願いします。

もう一つは、神大フェスタ実行委員会の羽賀亮太君(当時一年在学)が神大フェスタで制作した「スマイルアート」展示の御礼にわざわざ盛岡を訪問。その時も急きよ招集をかけたところ若手中心に六名が馳せ参じてくれました。岩手の結束力は堅いのです。

他にも地元の放送局、IBCラジオのアナウンサー高橋圭太君(平成22年・自治行政卒)やエフエム岩手、下坪愛弓さん(平成24年・中国語卒)も仕事の忙しい中、会合に参加してくれたり、各種会合の案内文の封入作業や宛名シール貼りを手伝ってくれたりしています。

なんとと言っても「若手」のいいところは、先輩諸氏も偉ぶらず、気軽に若手会員に声をかけてくださいます。又、新しい事業を企画して、失敗した場合でも「次、成功させるべー」か、「継続は力なり」と、おおらかに励ましてくれます。

今の時代、大学までは三時間ほどで往来できますが、岩手から横浜専門学校に入学した時代は「海外留学」に匹敵する時間差と情報量の差がありました。

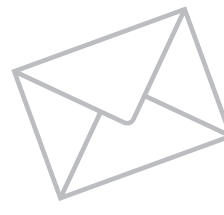
そんな先輩諸氏の薫陶をいただきつつ、次世代の「若手を担う」若手会員と交流しながら、それぞれの活躍する姿を見続けていければ幸いです。

●会長 宮澤俊次(昭和48年・経済卒)



地域組織だより

- 北海道ブロック会議(苫小牧)
- 東北ブロック会議(岩手県)
- 北陸ブロック会議(富山県)
- 近畿ブロック会議(和歌山県)
- 中国ブロック会議(広島県)
- 四国ブロック会議(香川県)
- 九州ブロック会議(熊本大会)
- 札幌総会
- 函館総会
- 帯広総会
- 室蘭総会
- 苫小牧総会
- 旭川総会
- 北見総会
- 青森県総会
- 岩手県総会
- 秋田県総会
- 秋田県鹿角会
- 山形県総会
- 山形県庄内地区会
- 宮城県総会
- 福島県総会
- 新潟県総会
- 茨城県総会
- 群馬県総会
- 群馬東毛総会
- 静岡西部総会
- 愛知みやま会総会
- 岐阜県総会
- 三重県総会
- 大坂府総会
- 大坂府泉州地区会
- 兵庫県総会
- 奈良県総会
- 京滋総会
- 岡山県総会
- 山口防長総会
- 鳥取伯耆総会
- 香川県臨時総会
- 香川県総会
- 愛媛県総会
- 愛媛県宇和島地区会
- 愛媛県大洲喜多小西地区会
- 高知県総会
- 福岡総会
- 筑豊総会
- 北九州総会
- 佐賀県総会
- 長崎総会
- 佐世保総会
- 熊本県総会
- 大分県総会
- 鹿児島県総会
- 鹿児島県鹿屋地区会
- 同学会大連総会
- 同学会区臨時総会
- 磯子区総会
- 磯子区総会
- 神奈川総会
- 南区臨時総会
- 保土ヶ谷旭区総会
- 戸塚栄区総会
- 横浜北総会(都筑・緑・青葉区)
- 港南区総会
- 相模原総会
- 秦野市総会
- 平塚市総会
- 西多摩総会
- 南足柄市総会
- 三浦半島総会
- 茅ヶ崎・寒川総会
- 神奈川大学学内総会
- 川本工業総会
- 横浜信用金庫総会
- 会計士総会
- 社労士総会
- 三十路総会
- 三三三総会
- 珊瑚の会総会
- ボクシング部OB会総会
- 陸上競技部OB会総会
- バスケットボール部OB会総会
- 空手部OB会総会
- 柔道部OB・OG会総会
- レスリング部OB会総会
- ラグビー部OB会総会
- 卓球部OB会総会
- ヨット部OB会総会
- 学士山岳会総会
- 硬式野球部OB会総会
- 写真研究部OB会総会
- 吹奏楽部OB会総会
- 自動車工学研究部OB会総会
- 三洋みやま会総会



- ① 大学・宮陵会からの出席者
 - ② 開催場所
 - ③ 参加人数
 - ④ 開催コメント
 - ⑤ 活動(年間予定)
- ※神奈川大学・宮陵会は省略致しました。

北海道ブロック会議(苫小牧)

平成25年9月7日

- ① 学長 石積 勝
- ② 会長 狩野 七郎
- ③ グランドホテル ニュー王子
- ④ 平成25年9月7日 石積学長様、狩野会長様の出席を賜り、北海道7地区の宮陵会会員37名の出席で「第16回北海道ブロック会議」を苫小牧市で開催いたしました。あいにくの雨天で計画しておりましたが、マーチングドリルは中止となりましたが、石積学長から「曲がり角の日本」「曲がり角の大学」と題した記念講演を時間延長していただき、「世界や未来をみずえた大学経営」をお聞きし価値のある講演でした。懇親会、二次会の席上からの質問にも丁寧に答えていただき、現在の神大生の生活事情なども知ることができました。また、苫小牧市にてアيسホッケー



①の大会が開催しており急遽、試合の合間をぬって神大アيسホッケー部根本監督以下、コーチ、マネージャーが懇親会へ駆けつけて下さり、試合応援要請があった。

東北ブロック会議(若手県)

平成25年11月16日

- ① 学長 石積 勝
- ② 事務局次長 勇 真一郎
- ③ 副会長 大場 憲治
- ④ 専務理事 佐藤 武
- ⑤ サンパークやなぎ
- ⑥ 今年度の「第27回東北ブロック会議」は3・11の東日本大震災以降初めて「被災県」で開催。2年不参加の「福島県」から藤田会長にもお越しいただき東北6県すべての参加となった。「各県からの活動報告」ではそれぞれ工夫した内容の活動ではあるが、共通して「若手会員・女性会員」の参加意識が低いのが「悩み



①の報告であった。次年度は青森県での開催が決議された。「記念講演会」では「神大生と遠野市の絆」被災地の後方支援とボランティア活動の活動」をテーマに石積学長と本田敏秋遠野市長を中心に同事業に携わった遠野在住会友も登壇しての講演会を開催した。2年間に2500名以上のボランティア活動は被災地へおきな支援がなされた事、そしてボランティア活動した学生がこの機会に大きく成長した事が報告された。この講演会には石川県宮陵会の役員も参加。「ボランティア」の大きな成果を参加者全員が確認できた。交流会ではアトラクションで「カッパおじさんの語り部」が披露され、遠野名物の「どぶろく」や地ビール「すもなビール」遠野産ホップ使用の「キリン」たれたてホット生ビール「のアル」が提供され「遠野つくし」で大いに盛り上がった。最後は60数名が輪になって「校歌」を大合唱し、大団円となった。

北陸ブロック会議(富山県)

平成25年10月26日

- ① 常務理事 正野 幸延
- ② 副会長 宇野 峰雪
- ③ 理事 中野 健一
- ④ 富山県民会館
- ⑤ 北陸ブロック会に合わせ、大学、宮陵会、石川、福井から出席頂き、富山県出身の小馬教授の講演は出席者の好評がありました。特筆は前回に続き5名の初出席があり、役員の見直しも行われ、世代交代が見受けられました。
- ⑥ 役員・幹事会
- ⑦ 父母相談会出席
- ⑧ 北陸ブロック会議(福井・石川)出席
- ⑨ 進学相談会出席(年2回)
- ⑩ ホームカミングデーに出席
- ⑪ 富山県宮陵会会報の発行



- ① 理事長 伊藤 文保
- ② 副会長 宇野 峰雪
- ③ 近畿ブロック会議(和歌山県)
- ④ 平成25年6月8日



- ① ホテル グランヴィア和歌山
- ② 32名
- ③ 先ず、和歌山県総会で名称を「神奈川大学和歌山県宮陵会」とすること、決算等が承認された。
- ④ 近畿ブロック会議は和歌山県宮陵会会長の挨拶、そして近畿ブロック代表者会議の報告がありました。伊藤理事長は新学長の紹介、神大卒業生が20万人を超えたこと、ゼミの充実、法科大学院の問題点等を話された。宇野副会長は宮陵会の一般社団法人移行にともなう問題点について、特に支部名称は使えないが下部組織への今までの支えを約束された。又、新学長に期待する思いをエピソードを添え語られました。
- ⑤ また和歌山県防災課職員による講演(南海トラフ大地震への備え)があり、懇親会では各府県代表の報告もあり、たのしく和気藹藹で終了しました。
- ⑥ H25年度予定
- ⑦ H25・9・1 会報「神和会」22号発行
- ⑧ H25・10月予定 ゴルフ会
- ⑨ H26・2月予定 新年会
- ⑩ H26・6・14 神奈川大学 和歌山県宮陵会総会

中国ブロック会議 (広島県)

平成25年11月30日

- ① 学長 石積 勝
- ② 学長室次長 武井 正善
- ③ 副会長 宇野 峰雪
- ④ 専務理事 平能 孝一
- ⑤ ホテル グランヴィア広島 96名

大学から石積学長、武井正善次長、宮陵会から宇野峰雪副会長、平能孝一専務理事の出席をいただき現在の大学、宮陵会のそれぞれの現状報告を受けた。

特に学長の神奈川大学の将来進むべき姿・方向について大変熱意あるお言葉を拝聴し、遠く離れた地方会員のわれわれもまだまだ頑張らないといけないなど思いを新たに致しました。

また、今回の懇親会は、総会前に開催した「宮陵会中国ブロック会議」に出席の役員も同席された会合となったため昨年以上に盛大な会となり会員間の相互理解を深める会になった。

- ⑥ 第6回支店総会開催（平成25年11月開催）

役員会の開催（年3回程度）
総会企画運営委員会の開催（総会準備のため3回程度開催予定）
神奈川大学後援会主催の父母懇談会への出席

第5回「宮陵会中国ブロック会議」総会開催（平成25年11月30日開催）
一般社団法人神奈川大学主催の「全国地域組織代表者会議」への出席
県東部地区懇親会開催 予定

四国ブロック会議 (香川県)

平成25年11月9日

- ① 常務理事 正野 幸延
- ② 副会長 吉村 蒔子
- ③ オークラホテル高松 64名
- ④ 平成25年11月9日（土）午後2時から四国ブロック会議を開催し、宮陵会吉村副会長、大学正野常務



九州ブロック会議 (熊本大会)

平成25年9月7日

- ① 常務理事 正野 幸延
- ② 副会長 宇野 峰雪
- ③ 熊本全日空ホテル ニュースカイ 83名
- ④ 大学及び宮陵会より2名のご来賓、九州各県より42名、熊本より39名の参加で第37回九州ブロック会議を開催いたしました。

ブロック会議終了後、熊本にリターン就職した陸上競技部駅伝チーム



理事からそれぞれ近況報告があり、その後、四国各県宮陵会から取り組みなどが報告された。

引き続き、午後3時20分から西名善教授による講演会が、卒業生講師によるヨーガ講習会が行われ、記念撮影後の5時40分から約2時間懇親会を実施した。懇親会では県対抗の各種ゲームを企画し、会員相互の親睦・交流を図った。

26年度は徳島県が主催となる。

札幌総会

平成25年6月8日

- ① 総務部長 原田 浩行
- ② 副会長 平能 孝一
- ③ 札幌プリンスホテル 国際館バミール 68名
- ④ 午後四時より開催された札幌宮陵会総会は、鈴木英司会長の挨拶に

つづき、母校神奈川大学より原田浩行総務部長が出席され大学の現状等が報告されました。また、神奈川大学宮陵会からは平能孝一副会長が出席され、お祝いの言葉と一般社団法人へ移行した経緯、同窓会活動の現状等が報告されました。



ムの前主将福田健太君の講演を企画、箱根駅伝の裏話を興味深く拝聴させていただきました。

懇親会では、アトラクションとしてよさこいダンス、熊本支部の歌を作られた浦田会員の演奏を聴きながらの終始賑やかな宴となりました。

また、二次会にも半数以上がご参加いただき、熊本の夜を満喫しました。

⑤ 続いて、平成24年度の活動報告、決算、名称変更に伴う会則の変更、役員改選、平成25年度事業計画、予算が審議され全会一致で承認されました。引き続き行われた講演会は、榎本誠副学長が「大学での学びとは何か？入試の動向と体験授業の体験」と題し、大学とはどういう場なのか、入学してくる学生に何を求めるかを熱く語られました。

懇親会は、同日に開催された父母懇談会でこれら西脇幸二神奈川大学後援会会長の乾杯に続き、サスビシヤス・フロイデのアカペラコーラス、先輩会員が所属している「札幌ひよっこ会」の演舞、ビンゴゲーム等の盛り沢山のアトラクションで楽しく、賑やかな時間を過ごし、恒例の出席者全員による校歌斉唱で終了しました。

その後、記念写真撮影を行い、札幌の夜景を一望できる28階ラウンジでの二次会へと移行し交流を深めました。札幌宮陵会のホームページでは総会の模様などを公開していますのでご覧下さい。

函館総会

平成25年11月8日

- ① 学修進路支援部第一（教務） 事務部長 明比 卓
- ② 専務理事 平能 孝一
- ③ ホテルテトラ本館 19名
- ④ 神奈川大学OBの経営する「ホテルテトラ」で、19名の参加者にて開催いたしました。毎年、同様のメンバーが集まって頂き、楽しく開催できました。

入院療養中の柴崎前支部長も久々に元気な姿を見せて頂き、出席者皆喜んでおりました。

今年度は、現支部長・事務局長の入院等のアクシデントが続きました。今総会には元気な姿で出席され、来年の抱負も話して頂きました。

⑤ 会費未納入の方より出席出来ないが会費だけ支払いの旨、報告が有りまして、本函館宮陵会も来年度より振り込み案内付きの案内状を出す事に決め案文を考えております。



帯広総会

平成25年7月12日

- ① 事務局長次長 稲垣 俊博
- ② 副会長 大場 憲治
- ③ 帯広ワシントンホテル 21名
- ④ 今年度は、初参加者3名（何れも平成年度卒業生）を迎え計21名と昨年を1名上回る参加者となりました。この結果参加者の内、平成年度卒業生が6名と若返りもみられ、来年度当番の北海道ブロック会議に向け大きな弾みがつけられる総会となりました。

⑤ 支部総会 7月12日開催
北海道ブロック会議 9月7日開催
（吉小牧、4名程参加予定）
役員会適宜開催予定



室蘭総会

平成25年10月12日

- ① 事務局長次長兼人事部長 専務理事 佐藤 武
- ② サンプルト室蘭 16名
- ③ 宮陵会より佐藤武専務理事に出席を賜り今後の横浜キャンパスの変化について毎年どこが変わって

④



生の「Uターン」就活支援や情報交換会を開催して、地域社会で貢献出来る人材に育成しながら若手宮陵会への帰属意識を醸成する。

秋田県総会

平成25年7月27日

- 1 管財部次長兼調達課長 事務取扱 増子 義典 副会長 大場 憲治 21名
- 2 アキタパークホテル
- 3 本年度の総会・及び幹事会において校友会活動のあり方について議論した。
- 4 行事への参加者が固定化しており、これまで通りのやり方では先細りする。

このためには、大きな改革が必要。このため、今後、県南、県北地区の交流化を促進するため、ブロック会（懇親会）を積極的に開催し、地区ごとの活性化を図ることとした。本年度は、県南地区において開催することとし、来年度は県北地区で開催する。また、ブロックごとにリーダーを決めて、リーダー会を行いながら情報交換することも検討している。

（課題）

- 1 役員の高齢化→若返りを図ること。（世代交代の時期にある）→そのためには、行事に参加する若い年代層の発掘に取り組むこと。
- 2 参加人数の低迷→若い年代層や女性会員の参加意識をどのように高揚させるかが、大きな課題→活性化の大きなポイント

- 1 平成25年度の活動方針 総会などの参加者が固定化する傾向にあることから、新しい参加者、特に、若い世代や女性の参加者の増加を目指し、「定款」の変更と2年毎の「役員改選」で全役員の再任が承認された。
- 2 活動内容
 - ・会員名簿の作成・配布（会費納入者のみの限定）
 - ・総会・新年会の開催（毎年開催）
 - ・東北ブロック会議への参加

岩手県総会

平成25年11月16日

- 1 学長 石積 勝
- 2 事務局次長 勇 真一郎
- 3 副会長 大場 憲治
- 4 事務局長 佐藤 武
- 5 サンパークやなぎ 28名

今年度は「第27回東北ブロック会議」の開催に当たり同会議と同じ日の開催となった。活動報告では、①総会②新年会③レクリエーション交流会④納涼ビアパーティーの4回のレギュラー開催のほか父母懇談の前日に「石積学長を囲む会」も開催。

他にトヨタ東日本東北岩手工場投手、阿世知暢君（H24・人科卒）の野球応援ツアーや神大フェスタ実行委の羽亮亮太君（当時1年）が盛岡に。歓迎会を数人で開催。今年の延べ参加人数は135人でした。又、宮陵会の一般社団法人化に伴い「神奈川大学岩手県宮陵会」に組織名の変更とそれに伴う「定款」の変更と2年毎の「役員改選」で全役員の再任が承認された。

- 1 有志による新年会
- 2 幹事会（3回程度/年）
- 3 県総会及び第28回東北ブロック会議（11月予定）

宮陵会理事の手塚氏にもオプザーバーとして参加頂きました。

- 1 平成25年3月19日 支部役員会（総会準備委員会）
- 2 6月18日 支部役員会
- 3 7月26日 総会
- 4 9月8日 ゴルフコンペ

北見総会

平成25年6月8日

- 1 事務局次長兼人事部長 事務理事 佐藤 武
- 2 北海道紋別市 紋別セントラルホテル
- 3 18名
- 4 今年度の支部総会は神奈川大学（宮陵会兼務）からのご臨席を賜り紋別市での開催となりました。

橋爪支部長挨拶の後、佐藤宮陵会専務理事から大学及び宮陵会の現状についてのお話を伺いました。その後、支部会員の自己紹介を終え議事に入りましたが、支部名変更に伴う会則改正が大きな審議事項でした。参加者全員のご理解を得て神奈川大学北見宮陵会として正式に発足することとなりました。次年度総会は6月14日北見市での開催予定です。

- 1 会員の約7割の方が還暦を迎えた高齢化の地域組織ですが、新名称のもと、益々元気で親睦の輪を広

会長への変更）が承認された。また土屋支部長から、今年9月7日（土）苫小牧にてブロック会議開催にたいする、協力の要請と地元で開催される「アイスホッケー大会時の母校アイスホッケー部応援、バスケット部合宿激励参加をよろしく」と要請があった。

- 1 7月・ゴルフ大会
- 2 8月・母校バスケット部合宿 激励
- 3 9月・ブロック会議苫小牧開催
- 4 9月・アイスホッケー大会 母校応援
- 5 10月・パークゴルフ大会

旭川総会

平成25年7月26日

- 1 事務局次長兼人事部長 専務理事 佐藤 武
- 2 旭川グランドホテル
- 3 15名
- 4 総会参加者が減少の一途をたどっており、総会の話題は会員の増強戦略がメインとなった。当日参加会員に役員就任を打診、加えて当日参加者が1名以上の役員を紹介し、まず執行部態勢を強化することになった。

また、ゴルフコンペを9月8日に開催することが決まった。ゴルフを通して総会参加を促す手段として期待されている。

いくとの事で会員の皆さんも横浜キャンパスにぜひ訪れて見守って戴きたいと神大の現状将来の事等お話いただきました。

室蘭宮陵会も宮陵会の一般社団法人化に伴い神奈川大学室蘭宮陵会に呼称変更、規約も改定の承認を頂き懇親会に入りました。

当会員の金濱寛治と来賓の佐藤専務理事が大学時代、同じゼミで机を並べていた久々の再会とかで会員一同大いに盛り上がりました。

また国交大臣表彰を受けた宮森康一氏の紹介、道南バスの社長に就任した石橋博信氏などの自己紹介で室蘭宮陵会の結束を深めて二次会へと流れました。

- 1 北海道ブロック会議への参加
- 2 室蘭宮陵会総会・懇親会の開催（10月）
- 3 親睦ゴルフコンペ
- 4 親睦パークゴルフ大会

苫小牧総会

平成25年5月25日

- 1 ニューステーションホテル
- 2 17名
- 3 17名の参加と例年より少なかったが、久しぶりに顔を合わせ近況報告、また学生時代の話に盛り上がり、2次会にも10名の方が出席した。
- 4 総会では支部名称を「神奈川大学苫小牧宮陵会」に変更と、伴う規約変更（支部名称並びに支部長→



・ 県南ブロック会懇親会への支援
・ 鹿角地区会への支援
・ セミナーの実施（共催）
・ 有志によるゴルフコンパへの開催

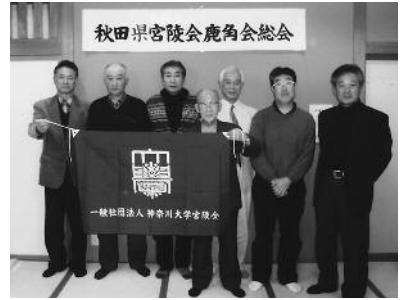
・ 平成25年度役員会・総会
平成25年7月27日（土）
第2回役員会（名簿作成）
平成25年10月26日（土）
東北ブロック会議（遠野市）
平成25年11月16日（土）
東北地区鹿角会総会
平成25年11月30日（土）
第3回役員会
平成25年12月7日（土）
新年会
平成26年1月25日（土）
横手プラザホテル

秋田県鹿角会

平成25年11月30日

④ ホテルガーデンかわむら 8名

③ 総会は安村会長（30法）の挨拶で始まり、今年には本会創立20年であり、秋田県宮陵会から本間幹事長（51法）も出席、議事は全案件原案承認となり、役員改選では会長・田中正美（36法）、副会長・井上高廣（46応化）、理事は佐藤



博明（47応化）、田口裕（49寛）、中村仁（53法）の3氏が選出された。

⑤ 博明（47応化）、田口裕（49寛）、中村仁（53法）の3氏が選出された。
・ 通年行事の複数回開催
・ 宮陵会活動への積極参加
・ 神大知名度の更なるアップへの協力
・ 神大クラブ活動での鹿角利用の方策検討

山形県総会

平成25年11月2日

① 事務局次長兼人事部長 専務理事 佐藤 武
② 上杉城史宏
③ 32名
④ 今回は、当会設立45周年記念として開催しました。総会では上程した議案も無事採択し、有り難く思っております。来賓の佐藤様には2度目の来県、母校の現状と宮陵会の件につきお話頂きました。当会規約改正には来賓挨拶の中で触れられた事も大きく影響したと思われました。記念講演には、中島教授にお願いし御講演頂きました。演題は「アジア太平洋戦争をめぐる日本人の三つの戦争観」でした。私的な事ですが、小生が小学6年の担任が同じような事を話してくれた事を懐かしく思い出しながら拝聴させて頂きましたし、久しぶりに大学時代の講義を受ける学生時代に戻った思いもしました。立場により、見解が変わるといっても、最後に開催地の置賜地区の会員各位の御協力に感謝します。



⑤ 1. 目的
神奈川大学山形県宮陵会会員の交流と親睦を図り相互の「絆」を深め、神奈川大学の進展と維持を願い、これらに必要な事業並びに活動を推進する事を目的とする。
2. 具体行動
・ 県内四地区が独自に積極的な活動を行い、地区内の会員と在校生との交流・向上を推進する。
・ 大学本部を通し本部及び全国支部の情報の発信を御願いし活用する。
・ 大学本部からの課外活動（スポーツ・文化・体験等）の依頼には積極的に協力して行く。
・ 在校生及び保護者との交流を深め充実を図る。

山形県庄内地区会

平成25年7月28日

② 山居倉庫 夢の倶楽 内 14名

③ 同じ、庄内でも鶴岡（田川地区）と酒田（飽海地区）とは気質が大きく違い其れをどの様に克服しとめるかが今後の課題と言えると思います。旧鶴岡会再結成し、26年、現支部長により新方針を打ち

宮城県総会

平成25年11月9日

① 学長室次長 武井 正善
会長 狩野 七郎
理事 久保 清治
ホテルレオパレス仙台
32名
② 今年度の支部総会は、3年ぶりに従来の11月第2土曜日にもどして開催となりました。
③ 総会は、今年も在校当時の応援団長小林保博氏（S37電卒）の指揮による「校歌斉唱」で始まり、浅野県会長の挨拶後、母校武井次長様から母校の「将来構想と現況」等のご挨拶、宮陵会狩野会長様及び久保理事様からは「震災に対するお見舞いのご挨拶と宮陵会の現況や地方出身者の割合が少なくなった」などのご報告があり、在校当時との相違を感慨深く聴講しました。その後審議に入り、浅野県会長の議長の下、「平成25年度事業・収支決算報告」、「平成26年度事業計画（案）・収支予算（案）」が承認されましたが、今年も総会の出席者が昨年より2名少ない32名と減少傾向にあるため、「県宮陵会の活性化について」懇談し、今後、対応については真剣に検討することとしました。



⑤ う、お互いに声掛け合って誘い合うことを確認し、最後に母校の「箱根駅伝シード権獲得」を目指し、応援歌を斉唱して盛会のうちにお開きとなりました。
④ 「宮城県宮陵会総会」の開催
平成26年11月8日
レオパレス仙台
・ 宮陵会「東北ブロック会議」への出席
平成25年11月16日
岩手県遠野市
・ 仙台・気仙沼・石巻・仙北地区会議の開催
・ 宮陵会事業への女性会員及び若年会員の参加意識の啓蒙
・ 会員名簿の整理及び管理
・ 会員間による同業種、異業種の交流及び情報交換の促進
・ 懇親ゴルフコンパの開催 4月・10月

福島総会

平成25年12月14日

① 内部監査室長 増子 義典
専務理事 平能 孝一
会津若松市 ホテルいずみや 16名

② 東日本大震災のため、三年振りの総会開催となりましたが、開催地が会津若松市ということもあり、浜通りの会員出席がありません



⑤ 総会案内総数の25%の返信しかなかった。宮陵会そのものに関心がないのが残念です。
活動（年間予定）
平成26年度総会を秋に開催予定

新潟県総会

平成25年11月9日

① 事務局次長 勇 真一郎
副会長 宇野 峰雪
② 新潟東急イン 21名
③ 11月9日（土）新潟駅前「新潟東急イン」におきまして大学より来賓お二人をお迎えし、総勢21名で開催いたしました。来年は当地に



て吹奏楽部演奏会の計画があるとお話をいただき大いに盛り上がり、昭和16年卒の山下英夫先輩の横浜専門学校エールでお開きとなりました。

茨城県総会
平成25年6月2日

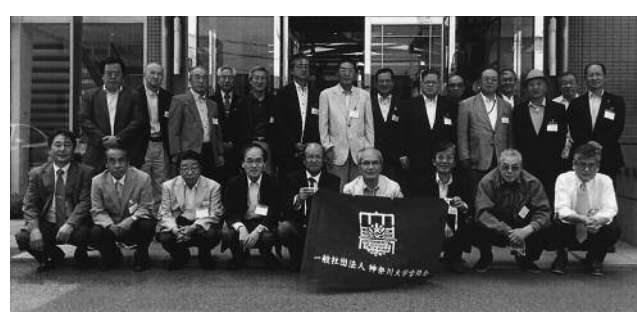
- ⑤ 11月 第32回総会 開催予定
- ④ 情報システム推進部長 金丸 壽男
- ③ 専務理事 大場 憲治
- ② 下館 ホテル新東 23名
- ① 6月2日(日) 下館のホテル新東にて(社)宮陵会茨城支部総会が開催されました。

今回は念願の県西での開催という事で、これまで茨城の五つのブロックが完成しました。(県北、県央、鹿行、県南、県西)

大学から金丸部長、(社)宮陵会より大場専務理事の出席を賜り、大学の近況、(社)宮陵会報告を頂きました。

各地区より23名の参加にて楽しく、総会懇親会とあつという間の3時間でした。

今回は(社)宮陵会茨城支部の名



称変更にて神奈川県宮陵会という名称に決議されました事を報告いたします。

10月中旬にて宮陵会コンベン開催予定

群馬総会
平成25年7月6日

- ⑤ 学修進路支援部第一事務部次長 古閑 安明
- ④ 専務理事 宇久田 進治
- ③ ミテルナ高崎 38名
- ② 24年度事業報告、会計報告、監査報告が承認され、25年度事業計画も示されました。支部活動と併せてゴルフ、旅行など4つのサークル活動も随時実施することとしました。このあと会則の改定を行い、名称を「群馬宮陵会」とし、会旗の御披露目を行いました。
- ① 閉会後は古閑次長、宇久田専務から大学、宮陵会の近況報告をしていただき、恒例の箱根駅伝必勝ダルマの贈呈式を行いました。また、懇親会では神大O.Bで箱根駅伝な



どで活躍した近藤重勝上武大駅伝部コーチ(特別ゲスト)からスピーチいただき、会員との交流を深めました。

群馬東毛総会
平成25年6月29日

- ⑤ 1、総会、懇親会の開催
- ④ 2、箱根駅伝必勝ダルマの贈呈
- ③ 3、陸上部駅伝の富士見合宿を激励
- ② 4、県内での運動部の合宿を激励
- ① 5、箱根駅伝予選会の応援
- 6、ゴルフ、旅行、歩こう会、飲み会等のサークル活動の実施
- 7、父母懇談会への参加
- 8、新年会の開催
- 9、役員会の開催(2~3回)



総会は24年度の事業報告・決算・25年度計画・予算等・原案どおり承認された。

又、当群馬東毛支部の呼称も本部のアドバイスの元新たに「神奈川県宮陵会群馬東毛宮陵会」として承認され、会の役員呼称も本部に倣い会長、副会長となる。他の役員は

従来通りとする。

和やかな歓談、カラオケ等盛りだくさんの趣向の後、神大校歌の合唱で大バツとなり総会を終了した。

平成24年度の主な活動としては、総会、役員会に加えて支部会員相互の親睦を図る為のゴルフ・新年会、更には母校の期待を背負って活躍する現役後輩の学業はもとより、文化・体育活動に対する応援を通じて支部活動の活性化を図ることとした。

静岡西部総会
平成25年9月21日

- ⑤ 事務局長次長兼財務部長 永和田隆一
- ④ 専務理事 平能 孝一
- ③ オークラクトシティホテル浜松 3Fチェルシーの間 22名
- ② 本年度は宮陵会より平能様、大学より永和田様をお迎えし、総会及び懇親会を開催致しました。今年度は3連休の初日となっており、例年比べて若干参加人数が少ないう形ではございましたが、懇親会
- ① 事務局長次長兼事務部長 永和田隆一
- ② 専務理事 平能 孝一
- ③ オークラクトシティホテル浜松 3Fチェルシーの間 22名
- ④ 本年度は宮陵会より平能様、大学より永和田様をお迎えし、総会及び懇親会を開催致しました。今年度は3連休の初日となっており、例年比べて若干参加人数が少ないう形ではございましたが、懇親会



ではジャズバンド(ゴールデン・スターズ)の生演奏や参加者の自己紹介等を含め、和やかな雰囲気の中、ゆっくりと親睦を深める事が出来ました。

年間に3回(7月、9月、12月)役員会を開催し、総会の打ち合わせや宮陵会活性化について意見交換を行っております。

また、上記以外に女性部役員会を開催し、今後の女性部活性化について話し合っております。

愛知みやも総会
平成25年6月22日

- ⑤ 事務局長次長 勇 真一郎
- ④ 専務理事 宇久田進治
- ③ 東京第一ホテル錦 17名
- ② 当総会は、6月22日に大学より事務局長次長勇真一郎様、宮陵会専務理事宇久田進治様の出席を賜り、東京第一ホテル錦にて開催した。総会では会長が議長になり各議案の説明、報告を承認されました。当会は昭和11年に設立され、今回は77回目となり、この伝統ある会をより活性化するには大学、宮陵会のさらなる援助を依頼し、又、80周年に向け記念総会を開催したいと会長より提案した。
- ① 事務局長次長 勇 真一郎
- ② 専務理事 宇久田進治
- ③ 東京第一ホテル錦 17名
- ④ 当総会は、6月22日に大学より事務局長次長勇真一郎様、宮陵会専務理事宇久田進治様の出席を賜り、東京第一ホテル錦にて開催した。総会では会長が議長になり各議案の説明、報告を承認されました。当会は昭和11年に設立され、今回は77回目となり、この伝統ある会をより活性化するには大学、宮陵会のさらなる援助を依頼し、又、80周年に向け記念総会を開催したいと会長より提案した。



その後、来賓2名の祝辞を頂き、閉会とし懇親会に入りました。

今年度はテニス部マジック(カード)3名をアトラクションとして実施、参加者の目前にてカードマジックを披露され各自、目を白黒となり再開を期して散会した。

4月 親睦ゴルフコンペ

5月 幹部役員会

6月 定期総会

9月 秋季ゴルフコンペ

12月 三河地区親睦会(予定)

岐阜県総会
平成25年9月14日

- ⑤ 研究支援部次長 田口 澄也
- ④ 理事 北野 紘一
- ③ 岐阜キャスルイン 24名
- ② 支部長挨拶、神大、宮陵会さま挨拶ののち、規約改定審議及び新役員への選出を行った。この審議により宮陵会の一般社団法人移行に伴う地域組織の名称変更を行い「岐阜県宮陵会」に決定した。これにより、これまでの規約を会則に変更し見直し改定した。また役員改選を行い会長に砥上忠久氏(S35機)が就任された。(再選)
- ① 事務局長次長 田口 澄也
- ② 理事 北野 紘一
- ③ 岐阜キャスルイン 24名
- ④ 支部長挨拶、神大、宮陵会さま挨拶ののち、規約改定審議及び新役員への選出を行った。この審議により宮陵会の一般社団法人移行に伴う地域組織の名称変更を行い「岐阜県宮陵会」に決定した。これにより、これまでの規約を会則に変更し見直し改定した。また役員改選を行い会長に砥上忠久氏(S35機)が就任された。(再選)





写真撮影後、懇親会に移り、ウクレレ伴奏による寮歌、校歌斉唱などもあり、なごやかな雰囲気の中で終えることができました。

平成25年9月14日
総会終了後第1回役員会開催
次年度の活動計画と概略日程の決定

平成26年5月
第2回役員会開催
総会前準備事項の打合せ
9月 総会開催

三重県総会
平成25年5月25日

① 学修進路支援部事務部長
津市 ホテルグリーン津 田島 和久
20名

② 大学から学修進路支援部事務部長
長 田島和久氏のご出席をいただきいただきました。5月1日現在、在校生は横浜14,000名、平塚4,000名、合計18,000名。昨年の就職率もアップしているとのこと。

特に昨年伊勢路を走った大学駅伝の当支部の応援のお礼とともに、今年も近々予選があり出場権獲得をめざしているとのこと。正月の大学駅伝復路で好成绩を残し今シーズンに期待しているとのことでした。

総会は事前に配布した「MIE

NEWS No12」に基づき2012年度の活動報告、会計報告があり続いて2013年度の体制、活動計画、活動予算が各担当から報告されました。

特に校友会活動のねらいを「世代・地域を越えたネットワークづくり」として「交流会出席者 毎回20名」を目標に活動推進していくことを確認しました。

総会終了後の「懇親会」は自己紹介にはじまり、恒例のお楽しみボウリング、校歌斉唱とつくすみジュールのなか参加者の情報交換が各テーブルで続きました。

⑤ (2013年度活動計画)
目的
① 地域を越えたネットワークづくり
② 交流会参加者 毎回20名
③ 2013年
4月21日 第32回交流会&第1回役員会
5月1日 広報「MIE NEWS S」発行 No12
5月25日 総会
会場：ホテルグリーンパーク津
7月27日 第33回交流会 鈴鹿
8月下旬 第2回役員会
10月28日 第34回交流会 南紀会員との交流
11月初旬 大学駅伝応援
○2014年
1月20日 第35回交流会
3月下旬 第3回役員会
*活動実績については三重県支部HP参照してください

① 人事部長 手戸 俊彰
会長 狩野 七郎
② 大阪府北区 常翔学園大阪センターおよびラウンジ翔
26名
③ 一般社団法人神奈川大学宮陵会になって初の地域組織総会のため、会則の改正を主にした総会となり、組織の名称を「大阪府宮陵会」と決定した。

総会終了前には根来新会長から若手出席者(平成卒)らの紹介を行

大阪府総会
平成25年6月22日

い、幅広い会員組織であることを印象付けた。

講演では、本大学経済学部秋山憲治教授による「日本経済とTPP」についての講話を興味深く聴くことができ、特に日本の農業のあり方については新たな視点で今後見えていく必要があると痛感した。

懇親会では来賓の挨拶で、宮陵会狩野会長から今後の一般社団法人としての宮陵会のあり方について述べられ、続いて大学からご出席の手戸次長より大学の現況報告がありました。

我々は地域組織として新たな気持ちで再出発を誓い、交友仲間の親睦と連携、そして母校の発展を期して頑張っていこうという気持ちになりました。

⑤ 1、平成25年度総会：6月22日(土)
2、地区会「泉州会」の開催：10月29日PM6時より屋形船にて漁師料理を楽しみながら大阪の夜景見物
3、新年会の開催：H26年1月下旬から2月上旬に予定

④ 2013年
4月21日 第32回交流会&第1回役員会
5月1日 広報「MIE NEWS S」発行 No12
5月25日 総会
会場：ホテルグリーンパーク津
7月27日 第33回交流会 鈴鹿
8月下旬 第2回役員会
10月28日 第34回交流会 南紀会員との交流
11月初旬 大学駅伝応援
○2014年
1月20日 第35回交流会
3月下旬 第3回役員会
*活動実績については三重県支部HP参照してください



① ひろく旅する会
② スポーツ同好会
③ 会長杯ゴルフコンペの開催
年3回
近畿ブロック親睦ゴルフコンペに参加

⑤ 1、地区会「泉州会」の開催
10月29日(火)
屋形船で大阪大川より夜景を見物及び懇親会
2、新年会開催
2月8日(土) 予定
《参考》大阪府宮陵会全体の活動予定
各種同好会
① ひろく旅する会
海外旅行予定
② スポーツ同好会
会長杯ゴルフコンペの開催
年3回
近畿ブロック親睦ゴルフコンペに参加

④ 八軒家浜船着場より
25名
開催日の直前に台風27号が接近していたので、私共も屋形船側も日々天候に気をもんでいましたが、当日は台風が去った後で、少し曇り気味ではありましたが、気温は暖かく屋形船に乗っても気持ちのいい気候となりました。

大阪に住んでいながら大川から船で夜景を見物する機会などはあまりありません。久しぶりに参加した方4名と、ご家族同伴の方が5名もあり、和気あいあいの2時間の船旅となりました。

⑤ 1、地区会「泉州会」の開催
10月29日(火)
屋形船で大阪大川より夜景を見物及び懇親会
2、新年会開催
2月8日(土) 予定
《参考》大阪府宮陵会全体の活動予定
各種同好会
① ひろく旅する会
海外旅行予定
② スポーツ同好会
会長杯ゴルフコンペの開催
年3回
近畿ブロック親睦ゴルフコンペに参加

4、役員会の定期開催：各種事業の実施前に随時開催
5、各種同好会の活動
1 ひろく旅する会
2 スポーツ同好会
3 会長杯ゴルフコンペの開催(年3回予定)
4 近畿ブロック親睦ゴルフコンペ
5 箱根駅伝応援の集い(大阪にて開催)
6 年間を通じて、近畿地区内で開催される母校出場の諸大会への応援参加
7 箱根駅伝応援の集い(大阪にて開催)
8 ショートトラックアイススケートの応援
9 宮陵会関西倶楽部定例会の開催
毎月第4金曜日PM6時より大阪府北区毎日インテニオ「LOUNG E翔」にて



① 図書館事務部長 堀江美由紀
専務理事 平能 孝一
神戸市シーサイドホテル 神子ビラ
34名

② 昨年度より総会開催場所を明石海峡大橋を見下ろせる舞子ビラに変更し、好評の為、今回も同じ場所にて開催致しました。今回は初めての総会出席者が5名あり、これを機に会員拡大に一層努力していきます。

③ 25年度総会は10月とは思えない真夏日のなか開催されました。本年度は組織名を「神奈川大学奈良県宮陵会」とする旨決議し、会則変更の承認を受け新たなスタートを切りました。参加会員は7名と少なく、会員からは来年は「会員体験談」を語るなどの工夫をこらしてはとの提案があり、その方向で進めることを決定しました。

④ 総会 10月
友好ゴルフコンペ
春4月 秋10月
夫婦同伴、知人等の参加を集い輪を広げている。

⑤ 1、地区会「泉州会」の開催
10月29日(火)
屋形船で大阪大川より夜景を見物及び懇親会
2、新年会開催
2月8日(土) 予定
《参考》大阪府宮陵会全体の活動予定
各種同好会
① ひろく旅する会
海外旅行予定
② スポーツ同好会
会長杯ゴルフコンペの開催
年3回
近畿ブロック親睦ゴルフコンペに参加

① 事務局次長兼経営政策部長
副会長 花嶋とみ子
花嶋とみ子
吉村 詩子
2 榎原市 榎原観光ホテル
7名
3 25年度総会は10月とは思えない真夏日のなか開催されました。本年度は組織名を「神奈川大学奈良県宮陵会」とする旨決議し、会則変更の承認を受け新たなスタートを切りました。参加会員は7名と少なく、会員からは来年は「会員体験談」を語るなどの工夫をこらしてはとの提案があり、その方向で進めることを決定しました。

④ 総会 10月
友好ゴルフコンペ
春4月 秋10月
夫婦同伴、知人等の参加を集い輪を広げている。

⑤ 年間を通じて、近畿地区内で開催される母校出場の諸大会への応援参加
1月2日 箱根駅伝応援の集い(大阪にて開催)
12月 ショートトラックアイススケートの応援
1 宮陵会関西倶楽部定例会の開催
毎月第4金曜日PM6時より大阪府北区毎日インテニオ「LOUNG E翔」にて



⑤ 事務所次長兼経営政策部長
副会長 花嶋とみ子
花嶋とみ子
吉村 詩子
2 榎原市 榎原観光ホテル
7名
3 25年度総会は10月とは思えない真夏日のなか開催されました。本年度は組織名を「神奈川大学奈良県宮陵会」とする旨決議し、会則変更の承認を受け新たなスタートを切りました。参加会員は7名と少なく、会員からは来年は「会員体験談」を語るなどの工夫をこらしてはとの提案があり、その方向で進めることを決定しました。

④ 総会 10月
友好ゴルフコンペ
春4月 秋10月
夫婦同伴、知人等の参加を集い輪を広げている。

⑤ 事務所次長兼経営政策部長
副会長 花嶋とみ子
花嶋とみ子
吉村 詩子
2 榎原市 榎原観光ホテル
7名
3 25年度総会は10月とは思えない真夏日のなか開催されました。本年度は組織名を「神奈川大学奈良県宮陵会」とする旨決議し、会則変更の承認を受け新たなスタートを切りました。参加会員は7名と少なく、会員からは来年は「会員体験談」を語るなどの工夫をこらしてはとの提案があり、その方向で進めることを決定しました。

④ 総会 10月
友好ゴルフコンペ
春4月 秋10月
夫婦同伴、知人等の参加を集い輪を広げている。

京滋総会

平成25年6月23日

- ① 事務局次長 勇 真一郎
- 副会長 大場 憲治
- 京都新阪急ホテル
- 20名

・支部総会で昨年度の事業報告・会計報告及び監査報告、役員改選等議題はすべて承認されました。また今年度より名称が「神奈川大学京滋宮陵会」と変更されました。

・神奈川大学経済学部教授秋山先生より「日本経済とTPPについて」と題して講演をしていただきました。

・その後懇親会では、兵庫支部より2名、和歌山支部より1名のご参加もいただき懇親を回っていただきました。

- ⑤ 毎年総会と新年会だけの活動であり参加人数も少なく今後の京滋支部の在り方について役員の間で議論を重ねておりますが、なかなか難しい問題となっております。本年度は京都地区の会員拡充に力を入れる方針で活動予定が決定されました。
- ④ 1、支部総会の開催
- 2、新年会の開催
- 3、役員会の開催



4、京都地区懇親会

岡山県総会

平成25年6月22日

- ② 副会長 大場 憲治
- 岡山市北区 ホテルエクセル岡山
- 32名

・神奈川大学の一般社団法人化に伴い、総会では「岡山県宮陵会」として今後活動をしていくことを決議しました。

また、地元「湯郷ベル」(女子サッカー)の神大OB2名の支援することなど、今後も神奈川大学の発展のための支援体制を強化することが話し合われました。

懇親会も和やかに行われ、盛況のもと無事に会が取り行われました。

- ⑤ 平成25年6月22日
- 岡山県宮陵会総会
- 幹事会 計3回予定
- ゴルフ大会 計2回予定
- ・同窓会同志の親睦とコミュニケーションを図る。
- ・大学本部との連携を強化する(受験生の増加、運動部活動の支援など)



山口防長総会

平成26年2月6日

- ① 事務局次長 勇 真一郎
- 専務理事 平能 孝一



- ② 山口グランドホテル
- 18名

本部と学校から2名の来賓を迎え、詳しく、それぞれの近況と将来展望を聞くことができました。初めて参加してくれた5名から自己紹介、参加しての感想などを発表してもらいました。

イベントとして女性ボカールの生バンド演奏もあり、興に乗った参加者の昔懐かしい、ツイストダンスもあり、近年にない盛り上がりを見せました。

最後は、CD演奏で校歌を歌い、お互いの健康と活躍を称えあい次回への参加も約束して散会しました。

- ⑤ 26年4月 花見ツアー(山口地区)
- 26年10月 秋のゴルフ大会 (有志のみ)
- 26年12月 忘年会

鳥取伯耆総会

平成25年7月6日

- ① 内部監査室長 久米 信行
- 専務理事 平能 孝一
- 米子ニューアールホテル
- 20名

・大学より2名のご来賓を迎え、25回目の総会及び懇親会を開催いたしました。

本年度より校友会本部が「一般社団法人」へ移行したことに伴い、支部の名称変更、会則変更が、総会にて審議・承認されました。当日は地域で活躍するOBによる、



- ② 第6回目の特別講演として、山陰中央新報社 米子総局長 青山明弘氏(経済学部卒)による、演題「地方新聞の役割」を拝聴しました。氏のメディアに携わった一員としての信条に、会員一同が感銘を受けたものと思います。

懇親会では、母校の発展と、正月の箱根駅伝の活躍を祈願しながら、楽しい時間を共有しました。

H25年7月 総会及び懇親会

10月 全日本出雲大学駅伝の観戦

H26年1月 新年互礼会

鳥取因幡総会

平成25年8月24日

- ① 大学資料編集室長 澤木 武美
- 副会長 吉村 時子



- ② 鳥取市 鳥取シティホテル
- 21名
- ④ 当日は15時からボーリング大会、18時から総会を開催した。
- ③ 総会では、会則を改正し、組織の名称を上記のとおり変更し、役員は全員を留任とした。
- 懇親会は大学からの出席者やボーリングの表彰を行うなど、大いに盛り上がった。
- ⑤ 総会 8月下旬
- 役員会 年2、3回
- ゴルフ、釣りなど、交流会 年2回くらい

香川県臨時総会

平成25年11月9日

- ② オークラホテル高松
- 30名

平成25年11月9日(土)午後1時30分から、社団法人宮陵会(本部)が一般社団法人へ移行したため、それに伴う地域組織としての名称変更および会則の改正について審議するため香川支部臨時総会を開催したものです。

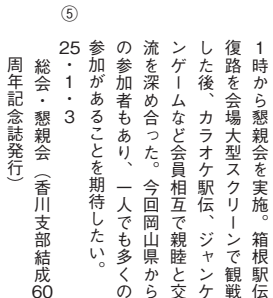
議案書は別添のとおりで、小泉副会長から提案理由説明を行い、共に総会の承認を得たものです。

なお、本総会は平成25年度第19回神奈川大学宮陵会四国ブロック会議の開催と合わせて実施しております。

香川県総会

平成26年1月3日

- ① 事務局次長兼人事部長 佐藤 武
- ② オークラホテル高松
- 36名
- ④ 平成26年1月3日(木)正午から香川県宮陵会総会を開催した。
- 総会終了後、写真撮影を行い午後1時から懇親会を実施。箱根駅伝復路を会場大型スクリーンで観戦した後、カラオケ駅伝、ジャンケンゲームなど会員相互で親睦と交流を深め合った。今回岡山県からの参加者もあり、一人でも多くの参加があることを期待したい。
- ⑤ 総会・懇親会(香川支部結成60周年記念誌発行)



- 2・3 香川丸亀ハーフマラソン大会応援
- 3・11 四国新聞「あの日の時」に総会写真を掲載
- 9・8 2013日本学生トライアスロン選手権観音寺大会応援
- 11・9 香川県宮陵会臨時総会・第19回四国ブロック会議開催
- 親睦行事としてゴルフ大会・直島美術館めぐり・うどん体験道場を実施
- 役員会の開催(4月・6月・9月・11月・12月)
- 26・1・3 総会・懇親会(神大レポート第10号発行)
- 5月〜8月 夏季親睦行事(大学訪問)
- 9月 2014日本学生トライアスロン選手権観音寺大会応援
- 11月 四国ブロック会(徳島県)

随時 役員会の開催

愛媛県総会

平成26年2月1日

- ① 学修進路支援部第一部(教務) 事務部長 明比 卓 副会長 宇野 峰雪
- ② 国際ホテル松山南館
- ③ 22名
- ④ 今回の総会は出席者の増加が見られた。
- ⑤ 今年10名・15名の出席であったが、今回は22名であり、会もいつも以上に盛況であった。ねばり強い案内状の送付の効果であろうと思われる、若い世代の増加が望まれる。



愛媛県宇和島地区会

平成25年11月8日

- ② 宇和島国際ホテル
- ③ 11名
- ④ 今回の総会は今までより1ヶ月前く6月の開催となりました。
- ⑤ 愛媛支部より3名の方が出席していただき、人数は少なかつたのですが、終始なごやかな意見の交換があり50分程で閉会しました。
- ⑥ 懇親会ではゴルフの話で盛り上がり、楽しい2時間でした。
- ⑦ 次回(6月)の再開を期し、閉会しました。

⑤ 地区会開催(6月中を予定)

愛媛県大洲喜多八西地区会

平成25年12月14日

- ② 内子町 「八久茂」
- ③ 10名
- ④ 大学創立者の出身地を主に本会を平成9年に設立し16年が過ぎました。当初に作成した会員名簿からは多くの方が物故者となり、消えて行きました。今年は会員数を増やすべく本部の資料を元に電話での問い合わせ等を行い3名の方を改めて登録し、今回はその内の1名の方にも参加いただき、互いに昔話しに花を咲かせました。母校が駅伝で上位に入賞することを祈って散会しました。
- ⑤ 6年一回程度の地区会です。一年前に完成しました「ぎずな公園」少し荒れ気味なので、町にまかせたのではなく、OBで面倒を見ようと思っています。



高知県総会

平成25年9月28日

- ① 情報システム推進部長 金丸 壽男
- ② 専務理事 宇久田進治
- ③ ホテル日航高知旭口イール
- ④ 32名
- ⑤ 高知県の津波、地震被害については阪神淡路大震災の建物被害の写真による倒壊、東日本大震災の地震津波被害の写真をもとに構造設計者からの高知県の東南海地震の想定についてわかりやすく講演をいただいた。



福岡総会

平成25年7月20日

- ① 総務部長 原田 浩行 副会長 宇野 峰雪
- ② 博多はてい屋
- ③ 13名
- ④ 議案第1号 平成24年度活動報告及び平成25年度活動計画
- ⑤ 松尾事務局長より説明、審議の結果、承認された。
- ⑥ 議案第2号 平成24年度会計収支報告及び監査報告
- ⑦ 松尾事務局長より説明、津田会長より監査報告、審議の結果、承認された。
- ⑧ 議案第3号 規約の見直し
- ⑨ 名称の変更(社団法人宮陵会福岡支部→神奈川大学福岡宮陵会)
- ⑩ 総会の決議事項の設置
- ⑪ 役員会の設置(理事、幹事)
- ⑫ その他の役職(相談役)の設置
- ⑬ 理事会、委員会の設置
- ⑭ 事業年度の設置
- ⑮ 会費規定の設置
- ⑯ 慶弔規定の設置



筑豊総会

平成26年2月16日

- ① 事務局次長兼人事部長 専務理事 佐藤 武
- ② 料亭 佐賀屋
- ③ 16名
- ④ 年に一度だけ地区の同窓生が集う総会が、2月16日(日)正午からいつもの料亭「佐賀屋」で本部から佐藤専務理事、田代北九州宮陵会会長他3名、松尾福岡宮陵会会長の出席を頂き、開催されました。
- ⑤ 1、4月2日、福岡、北九州、筑豊宮陵会三者親睦ゴルフ会
- ⑥ 西日本カントリークラブ



北九州総会

平成25年11月30日

- ① 教育支援センター事務部長 松岡 博之 副会長 吉村 晴子
- ② ホームカミングデー、母校 ホテルクラウンパレス小倉
- ③ 29名
- ④ 今年初めての試みで、総会の前段に約1時間の講演を致しました。
- ⑤ 「ITとの上手な付き合い方」と題して、専門家を招いての講演でした。講演の後で質問が沢山出でてきて、有意義な講演でした。
- ⑥ 昨年からはじめた3宮陵会の交流で、福岡宮陵会及び筑豊宮陵会からの出席者も有り、今後は3会合同の企画や行事を協力して行おうと、3会の結束を誓いました。
- ⑦ 今年5月に開催された「神奈川大学吹奏楽部 2013福岡特別講演」では、3会の協力で大成功に終わったことを、皆で喜び合いました。
- ⑧ 26年度に向けて大いに期待できる状況が生まれた良い総会と楽しい和やかな、懇親会になりました。
- ⑨ 平成25年12月2日(月)



佐賀県総会

平成25年7月13日

- ① 健康科学スポーツ支援部長 辻 洋一
- ② 理事 古川 勝彦
- ③ 佐賀県有田町 保名(やすな)
- ④ 12名
- ⑤ 来賓お二人のご臨席を賜り、宮陵会本部及び大学の最新情報をご提供頂き、また、本会の予算、決算、支部名称を今後「神奈川大学佐賀県宮陵会」とすること、それに伴



う本会規約の改正及び本会役員交代についての議案を原案どおり全会一致で承認可決。

今回は久しぶりに佐賀市以外での開催となり、新参加者も2名加わり今後に繋がる総会となりました。

- ⑤ 支部総会（欠席者には資料送付）
- ・九州ブロック会議熊本大会への参加（参加予定3人）
- ・最新名簿による支部会員の振り直し

長崎総会

平成26年1月18日

- ① 事務局次長 勇 真一郎
- ② 専務理事 宇久田 進治
- ③ 大村市 「てん新」



- ④ 10名
- 大村市での2回目の総会開催でした。今回参加の永田・吉田会員が本年選層ということがわかり、「てん新」さんに祝いの赤いチャリヤンコを準備してもらい、記念写真をとりました。
- ⑤ 次回開催の長崎での定期総会では、今回の出席者が最低一人の会員に呼びかけ、長崎宮陵会の活性化をはかる。

佐世保総会

平成26年2月7日

- ① 事務局次長 勇 真一郎
- ② 理事 古川 勝彦
- ③ 12名
- ④ オプザバーとして長崎宮陵会会長、高名治様を迎え午後6時30分、平成25年度、活動報告、収支報告を進め、収支監査終え、神奈川大学状況（現状）報告を勇局長から、宮陵会古川勝彦様より全国代議員選出経過報告がありました。昨年、（25年9月7日）九州ブロック熊本大会にて26年3月24日、28日、タイランド、バンコク企画同行を依頼され手配完了報告をいたしました。宴終了後、校歌→二次会へ



- ⑤ 26年3月24日
- 神奈川大学北九州宮陵会（4名）
- 神奈川大学筑豊宮陵会（1名）
- 神奈川大学佐世保宮陵会（1名）
- バンコク宮陵会（2名）
- マレーシア・ペナン在住（1名）
- 会長会を開きます。
- （タイランド・バンコクで）

熊本県総会

平成26年2月22日

- ① 経営政策課長 田島 睦浩
- ② 鶴屋百貨店カーネーションサロン 35名
- ③ 大学より田島課長、九州ブロックより津田会長をお迎えして総会を開催いたしました。
- ④ 今年も毎月開催している理事会を中心に、慶祝会や60周年記念行事を企画していきます。



- 九州ブロック会議への参加
- 支部のホームページの更新

大分県総会

平成25年9月28日

- ① 広報部次長 吉原 勇樹
- ② 副会長 大場 憲治
- ③ レンブラントホテル大分 36名
- ④ 神奈川大学大分県宮陵会平成25年度総会が9月28日、大分市のレンブラントホテル大分であった。大学からは吉原広報部次長が、宮陵会本部からは大場副会長に御参加頂いた。総勢36名参加の活気ある総会、懇親会となった。
- ⑤ 平成25年9月28日（土）総会と懇親会を開催



鹿児島県総会

平成25年11月10日

- ① 情報システム推進部長 金丸 壽男
- ② 副会長 大場 憲治
- ③ 鹿児島県東急イン 25名
- ④ 大学より金丸情報システム推進部長、宮陵会本部より大場副会長に御出席いただき総会を開催した。前年まで居酒屋を会場として実施していましたが、今年からまたホテルでの実施としてみた。参加者は例年並であったが雰囲気も変わり話も盛り上がった感じがあった。会は大場副会長、金丸部長



より宮陵会、学校の近況等の話があり、有意義であった。今回は地域の組織としての名称変更、箱根駅伝出場決定が主要話題として終わった。

- ⑤ やや固定化された参加人数であるが更に輪を広げべく団結した会であった。
- 九州ブロック会議（宮崎）
- 鹿児島県宮陵会総会

同学会大連総会

平成25年9月7日

- ① 事務局次長 小林 孝吉
- ② 専務理事 佐藤 武
- ③ 大連民航大廈 21名
- ④ 田中則仁教授による講演会も同時開催いたしました。講演会には、会員以外にも20名強の聴講者が来場し、会員も含め、約45名の講演会となりました。

講演会の後は、会員のみで懇親会を実施しました。会員には田中教授の教えもいまして、懐かしい再会と共に、楽しい交流ができました。また、9月9日から大連でゼミ合宿を実施する中国語学科の村井准教授も参加してくださいました。

⑤ これまで、総会とは別で、1〜2か月に1回、会員での食事を開いてきましたが、この食事は今後も継続していきます。

引き続き、大連での就職支援など、



磯子区臨時総会

平成25年7月28日

- ① 理事 古川 勝彦
- 大学や在校生のお役に立てる活動も続けていきます。
- 今回は経営学部3年生で、提携校の東北財経大学で交換留学中の宇田川弘貴さんも総会に参加しました。留学生への支援なども、今後の活動としていきたいと考えております。





磯子区総会

平成26年1月26日

- 健康科学スポーツ支援部長
辻 洋一
- 理事
中野 健一
- 横浜市社会教育コーナー
22名
- 平成26年1月26日(日)、午後2時より5時まで横浜市教育コーナーで磯子区宮陵会、平成25年度総

- 横浜中華街「均昌閣」
- 臨時総会として開催：
宮陵会の一般社団法人化への移行に伴う磯子区支部の役割と名称変更に伴う決議の為に開催。
- 支部から独立任意団体への移行に伴う課題、新会則・組織名称
- 事業継承事項(平成25年度)新役員名称、会計(資産)の移行など審議の結果、全会一致で承認され新組織としてスタートした。

- 年度、磯子区宮陵会総会開催
- 磯子区宮陵会ゴルフ大会開催
- 納涼、懇親会開催
- 忘年会、懇親会
- 学生参加工場見学会開催
- ホームカミングデー磯子区宮陵会開催
- 随時電子情報研究会開催
- 定例(毎月)会議開催など

神奈川区総会
平成25年12月7日

- 事務局次長 勇 真一郎
会長 狩野 七郎
- 横浜キャンパス8号館842教室
31名
- 今年度は出席者に平成10年、22年卒のOBが参加するなど若い参加者が目立った。まず、春原正三郎会長の挨拶に始まり、平成24年度活動報告・会計報告がなされ、異議なく全員承認。次に本部組織の変更に伴う支部名称を含む会則案については審議の結果「神奈川区宮陵会」への名称変更・幹事の増員を軸とした案が承認された。
- 27年1月
箱根駅伝応援
- 11月
定例会(彩田劇場)
- 12月
忘年会

会が行われました。辻部長様、中野理事様を迎え、会員20名の参加のもと、木村副会長の司会のもと、総会が執り行われました。まず長田会長より挨拶があり、続けて辻部長様、中野理事様のご挨拶をいただきました。議事は、25年度事業報告・決算報告・監査報告と進み、平成26年度の事業計画・予算計画を審議いたしました。第二部の学術講演会では、長田会長より「水資源・大河ドナウとその国々」という題で講演いただきました。第三部の懇親会では、和やかな雰囲気の中、会員相互の親睦・意見交換が行われました。

- 平成26年1月 通常総会
- 2月 定例会(磯子区彩田劇場会議室)
- 3月 箱根駅伝会兼定例会(神大保養所)
- 4月 定例会(彩田劇場)
- 5月 定例会(彩田劇場)
- 6月 定例会(彩田劇場)
- 7月 納涼会兼定例会
- 8月 定例会(彩田劇場)
- 9月 工場見学
- 10月 ホームカミングデー出席
- 11月 定例会(彩田劇場)
- 12月 忘年会
- 27年1月 箱根駅伝応援

南区臨時総会
平成25年4月20日

- 副会長 宇野 峰雪
- 中区 バブ「セリーヌ」
- 全日本大学駅伝予選会応援
- 8月 幹事会
- 10月 箱根駅伝予選会応援
- 10月 ホームカミングデー出席
- 12月 神奈川区支部総会
- 平成26年
1月2日、3日
駅伝応援(協力者にボールペン進呈)

平成25年度の活動計画・予算案も意義なく承認されたが、新会員の勧誘活動には一人ひとりが積極的に取り組むべきとの声があった。懇親会では宮陵会、大学それぞれの代表、狩野宮陵会会長、勇事務局次長から挨拶をいただき、その後、本会に永年功績のあった野道昭三氏の表彰を行った。そして昭和24年卒の荒井肇氏のご発声により乾杯が行われ始まった懇親会は新会員の紹介、フラメンコ部「ロスガトス」の華やかな演奏などにより盛り上がりを見せ、全員の写真撮影、校歌斉唱で宴を終了した。

- 平成25年
6月



保土ヶ谷・旭区総会
平成25年6月29日

- 管財部長 飯田 泰弘
- 専務理事 宇久田 進治
- 神奈川大学1号館804会議室
15名
- 飯田事務局長の司会進行により開催、支部長挨拶、出席者紹介、物故者への黙祷、大学の現状報告、来賓挨拶の後、議事に入り、報告審議の結果、原案どおり承認された。
- 総会への出席者は相変わらず少ないが、新規参加者が4名あったことは先行きに明るい兆しと期待しています。今後、より多くの参加

和田事務局長の司会進行により開催

- 25名
- 宇野副会長より宮陵会、大学の現状と将来について
- 宮藤前内閣官房副長官(南区会員)のお話あり
- 和田事務局長より会計報告
- 古川三浦半島支部長より支部の活動のお話あり
- 手塚体育振興委員長よりスポーツ全般について
- 会員の報告・発表あり
- 懇親会
- 手塚委員長、平出委員のリードにより校歌、大いに盛り上がる。
- 次回の総会は平成25年10月頃とする。
- 来年は南区支部設立20周年になるので特別な会にしたい。
- 今後は2月、4月、6月、9月、11月の第3土曜日に自由参加の懇親会を行う。
- 大学の行事に積極的に参加する。
- 愛校会と共に、オール神大、を応援する。



戸塚・栄区総会
平成25年4月20日

- 事務局次長兼財務部長
永和田 隆一
- 副会長 平能 孝一
- 神奈川大学1号館3階301会議室
13名
- 大学より永和田事務局次長、宮陵会より平能副会長の御出席を頂き、総会を4月20日に母校にて開
- 親睦旅行(箱根保養所へ1泊(秋頃予定)
- 本部要請・ホームカミングデーへの参加 箱根駅伝の応援
- 本部代議員会・総会への参加
- その他目的に必要な事項

となるよう総会以外の企画を計画していきたいと考えています。

- 今年度は、会則を改正し、支部の名称を神奈川大学保土ヶ谷・旭区宮陵会に変更した。また、創立15周年を迎えたので、15周年記念会誌発行に向け、編集を本格的にスタートいたしますので、会員へ投稿を要請しました。
- 会議・役員会(随時開催)、総会(6月)
- 会報・創立15周年記念会誌発行(年度末の予定)
- 親睦会・サポロボールの会「元町クリフサイド」への参加(5月)
- 親睦旅行(箱根保養所へ1泊(秋頃予定)
- 本部要請・ホームカミングデーへの参加 箱根駅伝の応援
- 本部代議員会・総会への参加
- その他目的に必要な事項



横浜北総会
平成25年5月18日

- 学修進路支援部第一部(教務)事務局次長 明比 卓
- 神奈川大学 横浜キャンパス1号館502会議室
15名 委任状22
- 平成19年3月17日、横浜市緑区、都筑区を主地域として(社)宮陵会横浜北支部が設立されて7年目を迎えました。4月1日付で本部が一般社団法人神奈川大学宮陵会に移行された事により、本年度の総会では、例年の議案のほか名称及び会則の変更と役員改選が行われました。
- その結果、すべての議案は原案どおり承認が決定されました。また役員改選については、3期6年間にわたり確固たる基盤を築かれた渡邊支部長に代わり、森副支部長が
- 催いました。審議事項は無事承認され、総会終了後の講演会、懇親会は港南支部との合同で開催を行い、大いに盛り上がり、楽しい時間を過ごす事が出来ました。最後に今後支部会間の交流を図りお互いの発展を誓い終りました。
- 箱根駅伝の応援
- 会報等の発行
- スポーツ・文化・地域・社会活動への貢献
- その他

催いました。審議事項は無事承認され、総会終了後の講演会、懇親会は港南支部との合同で開催を行い、大いに盛り上がり、楽しい時間を過ごす事が出来ました。最後に今後支部会間の交流を図りお互いの発展を誓い終りました。

- 箱根駅伝の応援
- 会報等の発行
- スポーツ・文化・地域・社会活動への貢献
- その他

二代目の会長としてバトンタッチをする事になり、今後の更なる発展を期して、スタートいたしました。

- ⑤ 重点施策 横浜北宮陵会の区域(緑、青葉及び都筑区)内において会員増強
- II 一般施策

- 1、役員会、懇親会の開催
- 2、会員相互の親睦のための施策(旅行、ゴルフ、バーベキュー、及び趣味の会など)
- 3、文化教養講座の開催
- 4、社会、地域貢献としての活動
- 5、東京箱根間往復大学駅伝の応援
- 6、定時総会の開催
- 7、本部が開催する行事への参加
- 8、上記のほか、緊急必要な事業

港南区総会
平成25年4月20日

- ① 事務局次長兼財務部長 永和田隆一
- ② 副会長 平能 孝一
- ③ 神奈川大学 横浜キャンパス1号館804会議室
- ④ 今年度は、総会前に神奈川大学学院 歴史民族資料科学研究科教授の田上繁先生から『上・大岡の歴史』―江戸時代の百姓像を見直す―について講演をいただいた。最近自費出版された『北見家文書史料集』



の8年間に及ぶ調査の結果なども交えて楽しい講演となった。講演には戸塚・栄支部の会員も捧腹された。

- ⑤ 前期 1、6月8日(予定) 大岡川清掃ボランティア活動
- 後期 1、11月2日(土) 3日(日) 神大フェスタ

- 2、来場卒業生・他支部会員と交流をはかります。
- 3、11月23日(月) 忘年会兼箱根駅伝応援打ち合わせ会
- 4、平成26年1月2・3日の箱根駅伝応援 権太坂ポイントにて恒例の応援を行います。
- 5、11月10日(日) 創立者 米田吉盛先生の墓参
- 6、11月23日(月) 忘年会兼箱根駅伝応援打ち合わせ会
- 7、平成26年1月2・3日の箱根駅伝応援 権太坂ポイントにて恒例の応援を行います。

相模原総会
平成25年11月30日

- ① 事務局次長兼財務部長 永和田隆一
- ② 理事 橋本 正俊
- ③ 小田急ホテルセンター相模大野 8F「楓の間」
- ④ 1、経過報告及び会計報告(承認)
- 2、予算(案)・事業計画(案)について【承認】
- 3、会則の改正について【承認】
- 4、その他(今後の活動 体制について)意見交換
- 特に第3議案については、本部の一般社団法人移行に即した会則の改正を完了し、本会として、支障なく今後の活動を展開することができる体制となった。なお、当会が会員の範囲と定める相模原市の市町村合併により、市内に複数組織が存在する現状については承認し、当会があくまで市内全域を対象とすることを確認した。
- 5、その他議案の一つとして、津

久井支部、市役所内職域支部等の動き、対応について意見を交換し、それぞれの会の今後の動向によって、融合を図るなどの検討をすることとした。また、若い会員の参加促進、会の活性化への新たな事業として、地元サッカークラブであるSC相模原はJ3に加盟したことに伴い、監督が前神奈川大学サッカー部監督であったことや、卒業生が数多く活躍していることから、ホーム主催ゲームの中から2試合ほど選定し相模原宮陵会で応援することに

- ⑤ 総会・懇親会の開催
- 箱根駅伝応援
- SC相模原応援会開催の検討及び応援
- 役員・幹事による新規事業の検討

秦野市総会
平成25年5月25日

- ① 教育支援センター事務部長 松岡 博之
- ② 専務理事 宇久田進治
- ③ グランドホテル神奈中2階「東光苑」
- ④ 平成25年度総会は、会(旧名称…秦野支部)活動再開後二回目となり、前回とは場所を変更し開催しました。開催通知の方法も変更し、往復はがきを送付しました。それにより前回とは違った参加者が参集し、それなりに意義のある総会となりました。
- 神奈川大学、および横浜専門学校卒業生のうちご連絡先をお届けいただいている諸先輩は約900名強いらつかり、往復はがきを送付する方法で総会開催のご案内をさせていただきました。今後も開催案内方法、開催場所、開催形式を少しずつ変えながら、より参加しやすい方法を模索してまいります。
- 今回、再建二回目の総会を開催できたことは、非常に感慨深いもの

でござります。

- ⑤ 1、神奈川大学秦野市宮陵会総会(5月25日)
- 2、宮陵会準備委員会主催湘南ひらつかキャンパス新入生歓迎行事支援(毎年5月中旬)
- 3、神奈川大学湘南ひらつかキャンパス出展支援(10月26日〜27日)
- 4、第30回東京箱根間往復大学駅伝競走沿道応援(1月2日、3日)

平塚市総会
平成26年1月3日

- ① 総務部長 原田 浩行
- ② 専務理事 宇久田進治
- ③ ホテルサンライフガーデン 石垣 30名
- ④ 箱根駅伝応援については例年通り応援ポイントである湘南海浜公園付近にて1/2〜1/3の両日実施。復路応援終了後、ホテルのマイクパスにて総会及び新年会会場であるホテルサンライフガーデンへ移動、開会。会長挨拶、来賓紹介に続き、黒部事務局長より組織名称変更、事業計画(案)等の説明、副会長兼会計二見氏より会計報告(案)を説明、会員拡大の推進、交流事業の検討他の意見があり、原案通り承認された。
- 総会終了後ゴールまでの駅伝の模様をスクリーンにて応援しつつ、にぎやかに懇親会を実施した。
- 1、総会及び箱根駅伝の応援・新年会の開催
- 平成26年1月3日 ホテルサンライフガーデン
- 2、平塚市宮陵会事業 会員拡大の推進及び交流事業の検討
- 3、宮陵会事業の協力 総会に参加
- 4、全国支部長会議に参加
- 5、平塚祭へ参加(湘南ひらつかキャンパス)
- ホームカミングデーへ参加(湘南ひらつかキャンパス)



様をスクリーンにて応援しつつ、にぎやかに懇親会を実施した。

- ⑤ 1、総会及び箱根駅伝の応援・新年会の開催
- 平成26年1月3日 ホテルサンライフガーデン
- 2、平塚市宮陵会事業 会員拡大の推進及び交流事業の検討
- 3、宮陵会事業の協力 総会に参加
- 4、全国支部長会議に参加
- 5、平塚祭へ参加(湘南ひらつかキャンパス)
- ホームカミングデーへ参加(湘南ひらつかキャンパス)

西多摩総会
平成25年9月29日

- ① 事務局次長兼人事部長 専務理事 佐藤 武
- ② 神奈川大学宮陵会談話室および横浜中華街「均元楼」
- ③ 4名
- ④ 地元開成から母校と中華街で開催しました。
- ⑤ 訪問を機会に米田吉盛教育奨学金の募金を持参しました。
- 遠方開催になり、高齢者が欠席し、少人数参加となりました。
- 卒業後初めて見る母校の充実を実感しました。
- 懇親会はOBが経営する中華街で開催しました。
- ・宮陵会と神奈川大学発展のため



の各種支援

- ⑤ 年1回の総会と集い開催
- ・各季1回の目標で役員と有志による定例会開催
- ・本部や大学の行事等に参加
- ・年1回に会報の発行
- ・その他

南足柄市総会
平成25年7月13日

- ① 秘書室長 瀬田 高央
- ② 副会長 宇野 峰雪
- ③ 南足柄市女性センター
- ④ 10名
- ⑤ 今回の総会で会長が新任されました。それに伴い、役員も若干ですが若くなりました。
- 名称も「宮陵会南足柄支部」から「神奈川大学南足柄宮陵会」へ変更いたしました。活動もより充実を図っていきたくと考えておりますので、引き続き宮陵会本部の力添えをお願いいたします。
- なお、『支部長 神部 秀』から「会長 山本 俊雄」へ変更されました。
- ①、会則に基づき、名簿の整理及び会報(支部だより)の発行
- ②、会員相互の親睦行事の計画
- ③、母校の東京箱根間往復駅伝競走の応援
- ④、近隣市町の同窓生との交流を深め、支部の充実を図るとともに在校生との懇親を行う。
- ⑤、その他、必要に応じて事業を行う。





三浦半島総会
平成25年6月9日

- ① 国際センター事務部長 池原 治
- ② 専務理事 大場 憲治
- ③ 横須賀 セントラルホテル5階 宴会場
- ④ 総会では、事業報告及び収支決算報告を例年通り提出し、会則の変更については、一般社団法人に移行したことに伴い、これまでの支部名称を変える必要があるため、その名称および役職名の変更を提案し、いずれも承認可決されました。

- ⑤ 総会では、事業報告及び収支決算報告を例年通り提出し、会則の変更については、一般社団法人に移行したことに伴い、これまでの支部名称を変える必要があるため、その名称および役職名の変更を提案し、いずれも承認可決されました。
- ④ 総会の都度、講演を行っています。今回も神奈川大学前学長の中島三三氏による「日本人と三つの戦争」と題して、講演をいただきました。大変好評でありました。
- ③ 懇親会では池原部長及び大場専務理事の祝辞をいただき、乾杯をしてから懇親に移り、その後初参加の方は、自己紹介をしたり、支部で開催しています、サークル活動の状況等を報告し、会員によるア
- ② トラクションもあり、瞬間に終了時間となり、最後に参加者全員で校歌を斉唱しました。
- ① 親睦を深めながら母校の発展に寄与し、会員増強への基盤づくりを図る。

神奈川大学内総会
平成25年6月25日

- ① 会長 狩野 七郎
- ② ホテルキャメロットジャパン「ジュビリーⅢ」
- ③ 75名
- ④ 例年通り、6月に総会（ホテルキャメロットジャパン ジュビリーⅢ）を開催した。



- ⑤ 名と盛会に終わった。
- ④ 2013年6月25日…
- ③ 2013年度学内支部総会（於ホテルキャメロットジャパン）
- ② 2013年8月上旬…
- ① アルバム作成・配布（学内支部会員の意識改革を目的として）

川本工業総会
平成25年10月16日

- ① 専務理事 平能 孝一
- ② かながわ労働プラザ
- ③ 10名
- ④ 平成25年度総会を開催するにあたり、神奈川大学宮陵会より、平能専務理事の臨席を賜り、神奈川大学宮陵会の一般社団法人への移行の経緯等についてお話を伺うことが出来た。又、職域組織として、会員の親睦と神奈川大学の更なる発展に寄与すべく、活動の活性化を確認した。
- ⑤ 1、会員名簿更新 発行



横浜信用金庫総会
平成25年11月1日

- ① 理事 会田 彰
- ② ブリーズバイホテル
- ③ 62名
- ④ 11月1日（金）に神奈川大学校友会横浜信用金庫支部による校友会を実施致しました。



社労士総会
平成25年9月21日

- ① 副会長 宇野 峰雪
- ② 神奈川大学1号館804号室 展望ラウンジ
- ③ 15名
- ④ 第1部の総会では17時より開催され、会員17名の出席があり、第1号議案から第6議案まで全て原案が承認された。
- ⑤ 第2部は、テーマ「アベノミクスの功罪」、講師「経済学部部長兼子良夫教授」を開催し、会員17名と来賓8名の参加があった。



④ 総会は昨年度事業報告、決算の了承、宮陵会が一般社団法人に改組されたのを踏まえ、会則の変更、本年度役員を選任等を審議し了承を得た。

研修会は本年3月本学法学研究科博士課程前期を卒業された石原康則氏（厚生労働省社会保障審議会臨時委員（障害者部会）に「障害者雇用をめぐる直近の情勢と課題」を御講演いただいた。

⑤ 懇親会は大学より山崎大学院法学研究学部長、坂本法学部准教授、宮陵会より宇野副会長、田口事務局長取扱いの出席をいただいた。本年度は他大学社労士会との交流の中で駿台会（明大）、桜門会（日大）ら出席いただき、和やかな意義のある会を催すことができた。

今年度も昨年に引き続き7月6日に、大学との共同開催で「社会保険労務士はいま」と題して①社労士試験について②社労士の魅力と学生時代の過ごし方を、OB社労士に講演頂き、その後質疑応答を行いました。今年度は80人を超える参加を頂き、活発な質疑が取り交わされました。終了後、参加の先生、OB社労士、学生で懇親会を持ち、有意義な会を催すことができました。

三十路総会
平成25年10月20日

- ① 会長 狩野 七郎
- ② 神奈川大学20号館113号室
- ③ 17名
- ④ 1、三十路会決定の主旨
- 2、三十路会会則について
- 3、役員決定
- 4、三十路会年間行事について（互いに80才以上の高齢なので毎月有志によって会食会を開く、これは二八会からの引継ぎです。）
- 5、会員による年間費
- 6、体育会水泳部の活動近況について
- ⑤ 1、会報の発行、三十路会全国版として発行
- 2、総会は年1回とする



三三三会総会
平成25年5月15日

- ③、月行事として出席可能者で会食、談話会を開く
- ① 副会長 平能 孝一
- ② 横浜駅東口 崎陽軒本店
- ③ 29名
- ④ 平成25年5月15日（土）横浜駅東口、崎陽軒本店において開催した。卒業55年、三三三会設立33周年記念に相応しい総会・懇親会であった。

総会に先立ち物故者に対して黙祷を捧げ、式次第に則り秋田琢次氏（電気）の司会により進行した。会長古崎の挨拶に始まり来賓（一般社）神奈川大学宮陵会副会長平能孝一様のご出席を頂き、24年度の活動及び会計報告が行われ懇親会に入った。

新井三夫氏（貿易）の乾杯の首領で懇談に入り参加者29名一同近況報告をもって楽しいひと時に興じた。

堤宏氏の（電気）閉会の辞をもって3時間余の会を和やかな内に終了した。

3月2日
宮陵会平成24年度代議員会
4月4日
三三三会 オープンゴルフコンパ



珊瑚の会総会
平成26年3月5日

- ① 副会長 宇野 峰雪
- ② 神奈川大学19号館ラックスホール
- ③ 52名
- ④ 第23回総会は風雨が強く寒いコンディションのなか、遠方からの出席者を含め宮陵会からは副会長の宇野峰雪氏の来賓をいただき、会長挨拶、会計報告と監査報告、来賓の宇野氏ご挨拶、その他報告、連絡と進行するなかで、今回は新

旧役員交代の時期になり、立浪奥村、加藤氏達より、中元寺、安居、北村のメンバーにバトンが渡され、前役員、幹事、珊瑚の会皆さんが協力する条件で無事引き継ぎが完了しました。

懇親会が始まり乾杯、初参加者紹介、懇親、懇談が進み、年間予定の箱根行参加希望者を募り当日14名集まる。校歌・応援歌斉唱、中締め等で午後4時30分頃に再会を誓って散会。



ボクシング部OB会総会
平成25年11月30日

- ① 事務局次長兼人事部長 専務理事 1号館8階 佐藤 武
- ② ラウンジストッパー
- ③ 16名
- ④ 今年度の総会はOB出席16名と少なく寂しい総会開催となりましたが、総会終了後は例年通り、学生を交え懇親会が開かれ、総勢30余名の参加者で大いに盛り上がり、OB、学生の交流が計られました。
- ⑤ 4月・毎年開催される関東大学トーナメント（4部）の試合案内 11月or12月・ボクシング部OB総会



陸上競技部OB会総会
平成25年6月1日

- ① 専務理事 宇久田 進治
- ② 1号館8階804
- ③ 25名
- ④ 平成25年度陸上競技部OB会総会

⑤ 4月 箱根、仙石原

6月 浅草、寄席

9月 キリンビバレッジ暑気払い

10月 神大ホームカミングデー参加

11月 中華街「均元楼」忘年会及び次回総会打合せ

はOB25名の出席で開催されました。

当日は遠方から来られたOBもあり、現役側からの報告に対し活発な意見交換が行われました。

総会終了後、社団法人宮陵会専務理事、宇久田進治氏、後援会長、西脇幸二氏、陸上競技部現役部員91名を迎え、懇親会を行いました。

社団法人宮陵会専務理事、宇久田進治氏をはじめ来賓の皆様から現役部員に向けて激励のお言葉を頂戴しました。

最後には全体で校歌斉唱をし、OBと学生がひとつになり会を終えることが出来ました。

平成25年

4月 日本体育大学長距離記録会 応援

5月 横浜市市民体育大会応援 理事会開催

5月 第92回関東学生陸上競技対校選手権大会エントリー報告

6月 第92回関東学生陸上競技対校選手権大会応援 理事会開催

6月 第45回全日本大学駅伝対校選手権大会・関東選考会エントリー報告

6月 第45回全日本大学駅伝対校選手権大会・関東選考会応援





③ ② ①
バスケットボール部OB会総会
 平成25年7月6日
 301会議室
 神奈川大学横浜キャンパス24号館

- 7月 平成25年度定例総会
通知発送
- 8月 長距離夏季富士見合宿視察
短距離夏季菅平合宿視察
- 9月 長距離夏季霧ヶ峰合宿視察
短距離夏季平塚合宿視察
理事会開催
- 10月 第90回東京箱根間往復大学
駅伝競走大会予選会
神奈川大学ホームカミング
デー出席
- 11月 横浜市民選手権大会応援
理事会開催
- 12月 第90回東京箱根間往復大学
駅伝競走大会
日本体育大学長距離記録会
応援
理事会開催
- 平成26年
1月 第90回東京箱根間往復大学
駅伝競走大会応援
理事会開催
- 3月 短距離奄美大島選抜合宿視
察
理事会開催

- ⑤ 1、会報の発行(年一回) 平成26年1月発行
- ④ ③ ② ①
空手部OB会総会
 平成25年6月29日
 専務理事 宇久田 進治
 10号館食堂
 18名
 創部73年となりました空手道部を
 基盤に今後もOB会としての活動
 を通じ、神奈川大学の発展に少し
 でも貢献できる様に組織活動の確
 認の為、年に1度の開催を続けて
 おります。
 また、終了後、現役空手道部員
 との交流会を行なっております。

④ 平成25年度総会は、平成24年度事
業報告ならびに収支決算報告、平
成25年度事業計画案ならびに収支
予算案、会則の改正および役員
の改選について審議され承認決定さ
れました。

現在、会の最大のテーマは「会の
活性化・役員若返り」を、実効性
のあるものにする」です。所
属会員は本年4月現在で606名
(内150名余りが住所不明)と
なっていますが、地方在住者も多
くいますが、会の出席状況も悪く
、会費納入者も3割程度となってい
ます。

現代時代にひとつの目標に向かっ
て、一体と取り組み、養った尊
厳感を、卒業したら関係ない、
愛着が薄れていくことに、寂しさ
を覚えますが、若い会員の意見を
取り入れる(若年層が企画運営す
る懇親会等の企画)などしながら、
この問題に取り組むことを確認し
ました。

総会終了後には、六角橋商店街の
中華店において、楽しいひと時を
過ごしました。

⑤ 25年4月5日 6月
 現役のリーグ戦応援
 25年7月 支部総会
 25年8月 会報27号発行
 25年9月5日 11月
 現役のリーグ戦応援
 25年9月 支部役員会
 26年2月 会報28号発行
 26年3月 支部役員会

- ④ ③ ② ①
柔道部OB・OG会総会
 平成25年12月7日
 副会長 大場 憲治
 17号館215教室
 61名

- 2、ホームページの管理
- 3、OB会員への会費徴収及びス
ポーツプロモート
- 4、道場名札修繕
- 5、現役学生及び指導者へのフ
ォロー
 ・平塚校学生、指導者への交
 通費補助
 ・合宿差し入れ、ボクシング
 部との合同レシ実施補助
 6、公募制推薦入学学生募集、O
 B会としてのプロモート活動
- 7、OB親睦ゴルフ大会
- 8、OB総会(6月)



- ④ ③ ② ①
レスリング部OB会総会
 平成25年11月2日
 専務理事 宇久田 進治
 神奈川大学湘南ひらつかキャンパ
 ス 11号館2階第1会議室
 18名



⑤ 1、会報の発行

2、会員名簿の発行

3、地区総会の開催(北海道地区
札幌総会)

4、柔道部への支援

5、空陵会への参加

事務局長へと新体制の役員交代と
なった。又、本年秋に、叙勲され
た山口氏の披露がされた。
柔道部では、芳賀氏、藤田氏に続
いて3人目の快挙であった。会則の
改定、その他の報告事項がなされ、
諸星事務局次長の挨拶で閉会とな
った。



④ ③ ② ①
ラグビー部OB会総会
 平成25年4月27日
 副会長 平能 孝一
 神奈川大学付属中山キャンパス
 26名

- 1月 幹部会
卒業生記念品贈呈打合せ・
新入生歓迎打合せ
- 5月 リーグ戦観戦
- 6月 幹部会
手紙・HP会報発行の打合
せ
- 7月 会報発行
- 8月 幹部会
- 9月 OB総会打合せ
- 9月 後援会主催ビーチクリーン
・BBQ
- 11月 OB総会兼懇親会・会報発
行
OB総会・現役OB對抗戦
・箱根保養所懇親会

- ④ ③ ② ①
卓球部OB会総会
 平成25年11月9日
 事務局次長兼人事部長 専務理事
 佐藤 武
 大学19号館ラックスホール
 55名

⑤ 開催に先立ち物故会員に1分間の
黙祷を行った。総会は議事案件を
審議し、総て承認された。新入会
員は6名が紹介された。

総会後、ラグビーグラウンドでゴー
ルを背に現役、OBの集合写真を
撮った。

その後、現役部員の練習風景を見
学、その一環のタッチフットボー
ルには複数の会員も参加して共々
十分に楽しんだ。グラウンドサイ
ドではボールに戯れている会員も多
数見受けられた。

再びミーティングルームに戻り、
懇親会は日野ラグビー部部長の発
声により始まり、出席者の最長老
でS32卒越後氏、齊藤名誉教授の
挨拶、キヤノンイギリスのGM
でS55卒佐藤氏からはトップリ
ガーのラグビーに対する心得など
現役にとっては大変に有益な話が
あった。また、新入部員には
会長からクラブタイが贈られ、今
後の活動に期待が込められた。

1、年数回の役員会を開催し、会
の運営全般を協議し実行す
る。

2、会報は、年一回、会員名簿は、
2年に1回、週数年に発行す
る。

3、会費・寄付金の徴収活動には
督促活動を含め、力を入れて
いる。

4、現役部の維持支援態勢を継続
し、試合の観戦応援をする中
で会員の連帯感を醸成する。
さらに地区OB会開催を推進
する。

5、未連絡会員の確認活動を継続
し、会員の異動情報を把握し、
住所不明会員の発掘活動をす
る。



- 神奈川大学宮陵会からは大変お忙しい中、佐藤専務理事にご出席いただき、宮陵会の組織変更の経緯、神奈川大学創立100周年に向けた横浜キャンパスリニューアル計画、神奈川大学の現状等具体的な話しをお話をいただきました。総会では、現役幹部他16名を招待し懇親をはかり大いに盛り上がりました。
- ①、会員名簿の管理・作成
 - ②、会員への総会の状況報告
 - ③、卓球部の試合の応援&懇親の会の開催
 - ④、近隣高校招待試合の継続（OB会創設50周年記念事業の継続）
 - ⑤、親睦ゴルフ大会の開催
 - ⑥、定例総会の開催
- ヨット部OB会総会**
平成25年9月8日
- ① 専務理事 宇久田 進治
 - ② 江ノ島婦人センター
 - ③ 25名
 - ④ 現役支援強化及びOB会協力体制



- 強化のため、OB同士の情報交流の場、理解をもとめる場、そして仲間をふやす場と考えています。
- ① 役員会 年2、3回
 - ② 箱根駅伝応援 国府津
 - ③ 1月2、3日
 - ④ 立教大学ヨット部60周年記念式典参加
 - ⑤ 25年11月17日
- 千葉大学ヨット部60周年記念式典参加
関東学生ヨット連盟懇親会参加
神奈川五大学戦 主催 運営
- 学士山岳会総会**
平成25年6月29日
- ① 専務理事 平能 孝一
 - ② 横浜キャンパス 本館301
 - ③ 30名
 - ④ 宮陵会より平能専務理事のご臨席を賜り、第12回定期総会を横浜キャンパス本館301号室にて開催した。冒頭、一般社団法人に移行した宮陵会について、これまでの違いや、活動内容、役割等平能専務理事よりお話を頂いた後、議事に入りました。前年度の事業報告、決算報告及び監査報告の承認。続いて今年度事業計画案、及び予算案の承認を受け、最後にG&G



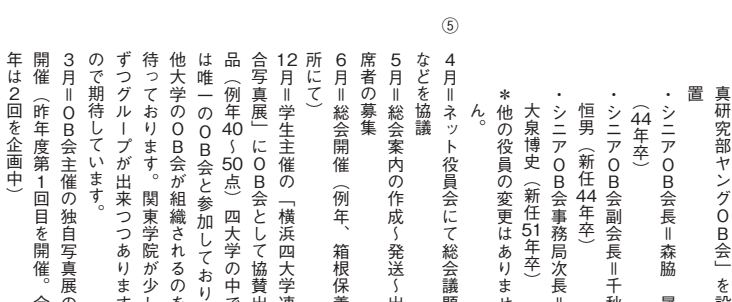
- 計画の今後の進め方等、柔軟に検討し、実行するよう、多くのOBよりご意見をいただき、無事総会を終了した。
- その後本館8階のラウンジにて、現役役員とOBとの懇親会に移りました。12名に現役役員が増え、山岳部としては他大学より羨ましがられる大所帯となり、活気みなぎる懇親会にOB諸氏も大いに喜び、盛大且つ、成功裏に閉会した。
- 2013年
- ① 6月
 - ② 北米大陸最高峰デナリ峰及び北極圏偵察
 - ③ 第12回総会開催
 - ④ ワールドカップ出場者支援サポート
 - ⑤ 7月
 - ⑥ 丹沢沢登りと富士登山支援サポート
 - ⑦ 北丹沢12時間耐久レース支援サポート
 - ⑧ 8月
 - ⑨ 夏山合宿支援サポート
 - ⑩ 日中韓学校交流親善クライミングコンペ及び富士登山支援サポート
- ① 専務局長兼兼人事部長 専務理事 佐藤 武
- ② 大学ラックスホール
- ③ 33名
- ④ 総会では専務理事佐藤武氏から宮陵会本部の組織変更に伴う支部への助言があり、加えて大学の近況についてご報告があり、用意された審議事項は全て承認され、終了後4年次生と来期の幹部を招いて、懇親会が開催された。最近の成績にかんがみ、来期は優勝に向けて一段の精進を求める激励の言葉があり、現役も応えるべく、より一層の練習にげみ優勝に向けて努力することが語られた。
- ⑤ 2月 激励会（春季リーグ戦に向けて）
- 4月〜9月 球場に於ける応援
- 8月 激励会（秋季リーグ戦に向けて）
- 11月 定例総会（規定により第二土曜日）

- ① 大山「山の体験学習」授業下見登山サポート
- 9月 大山「山の体験学習」授業登山応援
- 10月 常任理事会開催
- ・ホームカミングデー応援サポート
- ・OB、現役交流親睦登山
- 11月 日本山岳会学生部、皇居マラソン大会応援サポート
- ・冬山合宿倶楽部山行支援サポート
- 12月 冬山合宿支援サポート
- 2014年
- 1月 クライミング合同合宿
- 2月 丹沢主脈縦走応援サポート
- ・富士山雪上訓練支援サポート
- 3月 クライミング合同練習
- ・春山合宿支援サポート
- ・谷川岳雪崩講習応援サポート

- 写真研究部OB会総会**
平成25年6月8日
- ① 箱根保養所
 - ② 24名
 - ③ 昨年の会名称変更に伴い、宮陵会登録支部基準との不適合性が指摘されましたので、本年度総会にて是正と当該組織の整備のために再度名称及び組織形態を変更いたしました。
 - ④ (決定事項)
- ①、支部登録名称「神奈川大学写真研究部OB会」
 - ②、登録支部の役員を決定しました
 - ③、支部長 小田晃治（宮陵会代議員）
 - ④、事務局 清貞 徹（シニアOB会事務局局長兼任）
 - ⑤、会計 出口 隆（シニアOB会会計兼任）
 - ⑥、監査 柏谷和弘（シニアOB会監査役兼任）
 - ⑦、下部組織として、「神奈川大学写真研究部シニアOB会」と「神奈川大学写



- 写真研究部ヤングOB会」を設置
- ・シニアOB会長 森脇 晟（44年卒）
 - ・シニアOB会副会長 千秋 恒男（新任44年卒）
 - ・シニアOB会事務局次長 大泉博史（新任51年卒）
- *他の役員の変更はありません。
- ⑤ 4月 ネット役員会にて総会議題などを協議
 - ⑥ 5月 総会案内の作成・発送・出席者の募集
 - ⑦ 6月 総会開催（例年、箱根保養所に）
 - ⑧ 12月 学生会主催の「横浜四大学連合写真展」にOB会として協賛出品（例年40〜50点）4大学の中では唯一のOB会が組織されるのを待っております。関東学院が少しづつグループが出来つつありますので期待しています。
 - ⑨ 3月 OB会主催の独自写真展の開催（昨年度第1回目を開催。今年度は2回を企画中）（SNSの運用利用）（Face Bookではありません）





吹奏楽部 OOB総会
平成25年10月20日

- ① 専務理事 宇久田 進治
 - ② 20名
 - ③ 20号館111教室
 - ④ 名誉会長の遠山詠一氏の出席、他会員20名ほどの出席をいただきました。
 - ⑤ 宮陵会様からりっぱな「旗」を頂戴しました。総会ごとに掲げるつもりであります。
- 終了後の懇親会は楽しいひと時でした。
- 総会前日の10月19日は、全日本吹奏楽コンクール大学の部が福岡サンパレスにて開催されました。小澤音楽監督の指揮で現役諸君が頑張ってくれ、25回目の金賞を受賞

全国に散らばるOB会員のコミュニケーションツールとして、クローズ型の有料SNSを利用してあります。

その中で、写真の掲載を通じて意見交換を行っています。また、役員会もSNS内で実施し、今では無くてはならないツールです。クローズ型のため、部外者による干渉も無く、会員の個人情報や写真の流出も起こらず、著作権も保護されています。

自動車工学研究部 OOB総会
平成25年5月19日

- ① 副会長 小川 勲夫
 - ② 都筑区公会堂 第一会議室
 - ③ 9名
 - ④ 『会報郵送について』
昨年度より、住所の判明している会員約200名に対し、会報の郵送を開始しました。
 - ⑤ 『会費振込みについて』
OB会名義のゆうちょ口座を開設し、今後、振込用紙を会報郵送時に同封できるよう、動いておりましたが、現在保有している総合口座では振込用紙での振り込みができない事が判明しました。当面は従来通り、会報に口座を記載し、振り込んで頂く形にしたいと思います。
- 宮陵会が一般社団法人格になったため、財務上の連結の関係から「支部」を外す必要があるため、「自動車工学研究部 OOB会宮陵会」へ宮陵会加盟名称を変更します。
- 『メーリングリストの立ち上げ』
OBの情報交換用にメーリングリストを立ち上げました。今後、OB会関連の情報等を受発信していきたいと思えます。登録まだの方は承認いたしますので、古矢宛にメールをお願いします。
h u . i n t e . 7 6 1 7 @ g m a i l . c o m
- 『事務局長選任』
事務局長については、1年任期で、昨年はH23年の横井君にお願いしていました。
- 今年は前部長の高田君にお願いします。

されました。金賞受賞回数は大学ナンバーワンを誇っています。



三洋みやも会総会
平成26年3月25日

- ① 専務理事 佐藤 武
 - ② 日本橋 浮舟
 - ③ 10名
 - ④ 三洋みやも会総会は、母体である三洋証券(株)解散後も会員の交流の場として年に1度開催し、懇親を深めております。
 - ⑤ 今回、宮陵会の佐藤専務理事をお招きし、大学や宮陵会の近況をお伺いして、母校に対する誇りを改めて感じました。
- 今後、会の発展のために会員同士が連絡を密にし、より多くの会員の出席を促していこうとの決意を新たにいたしました。
- 年に1回の総会を開催

・会計状況。例年以上に悪い。一部部員の滞納が約28万円。一部部員が部費先払い約19万円。現状現金が全くなし。

平成24年度 OOB会 行事報告
3月24日 冬期 OOB総会

9月15日 夏期 OOB総会

平成25年度 OOB会 行事報告
5月19日 宮陵会 OOB支部総会
7月6日 第1回カーポート耐久レース

10月頃 下期 OOB会
下期 OOB会日程
現役の平塚キャンパスでの合宿に合わせ、平塚にて開催する。(宿泊込) 日程は後日連絡。



- ・ガレージ移転について。OBとの連携がとれず、進捗なし。
- ・部車はDC2インテグラ。ミラーは現況不動車。耐久用ウイヴィイオは昨年横転。もう一台は1台廃車予定。もう1台は転売予定。
- ・ガレージ移転について。OBとの連携がとれず、進捗なし。